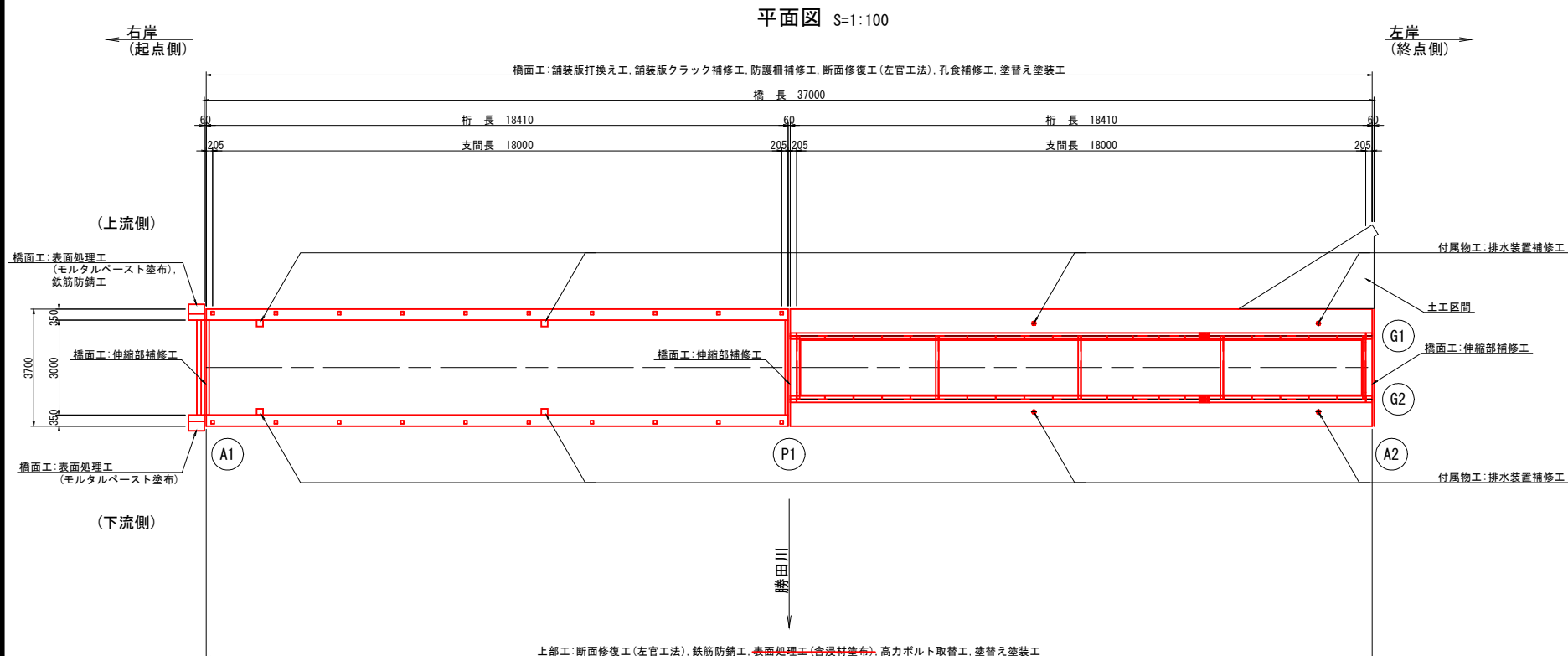
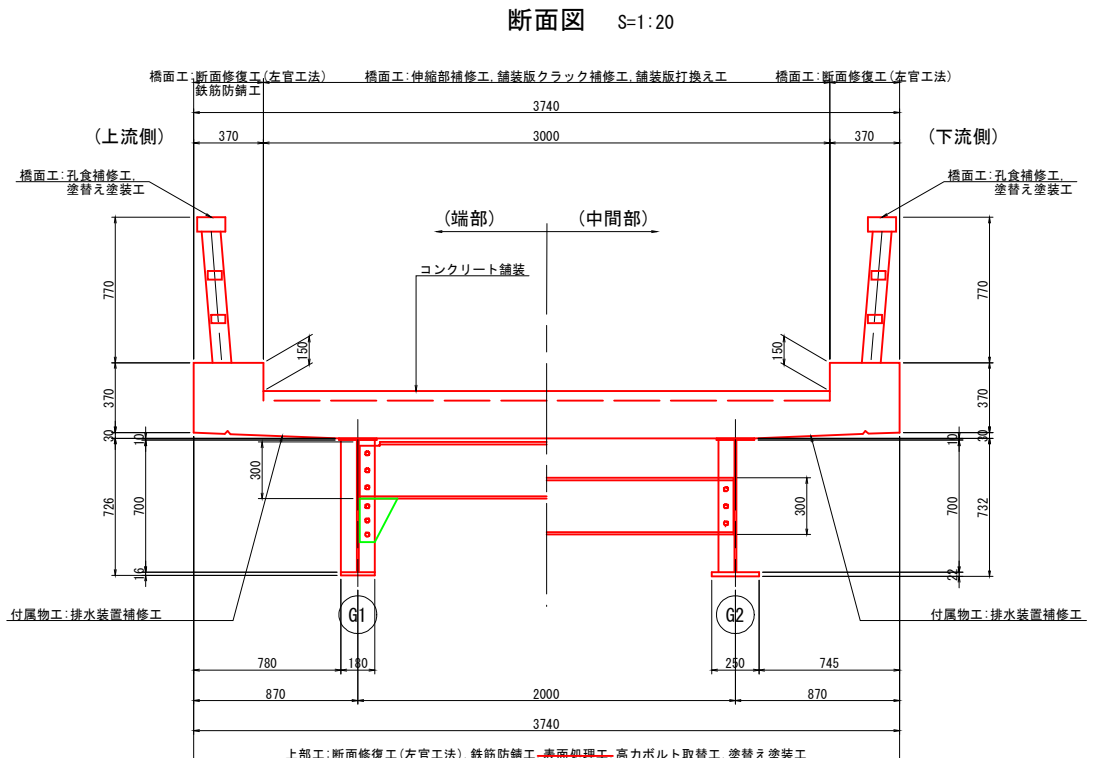
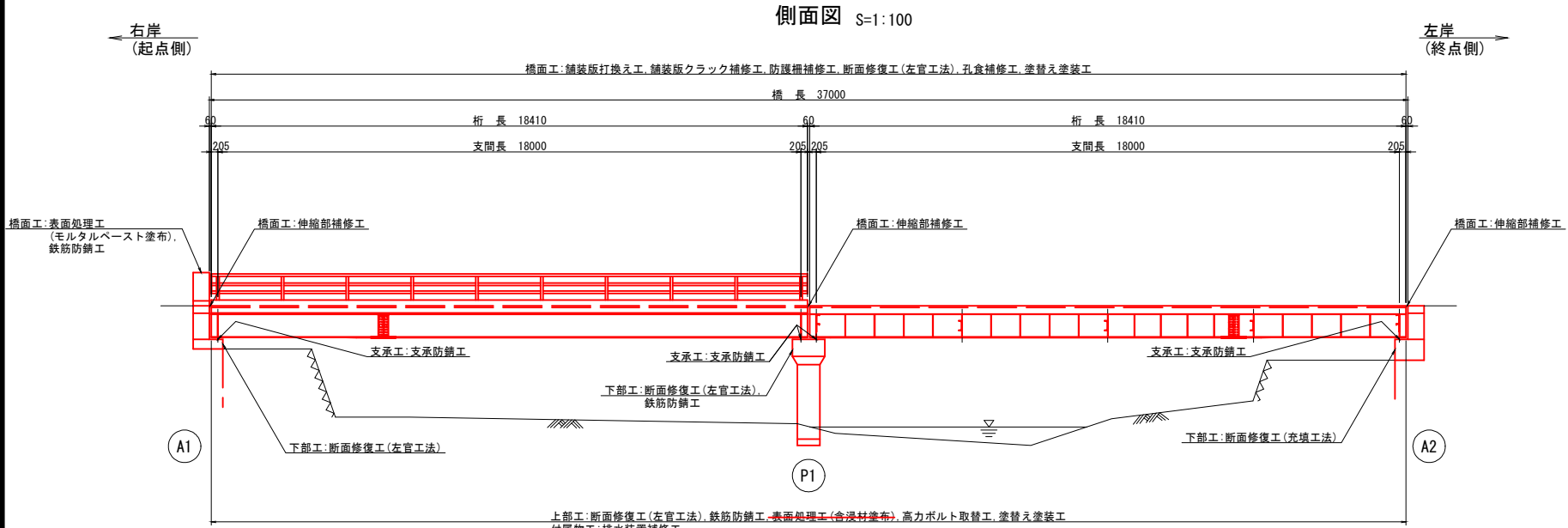




釈迦平橋 補修計画一般図



## 設計条件

橋 名	釈迦平橋（シャカナルハシ）
路 線 名	町道 釈迦平線
架橋年次	昭和44年（1969年）
交差条件	二級河川 勝田川
橋 長	37.000m
桁 長	18.410m x 2連
支 間 長	18.000m x 2連
有効幅員	3.000m
斜 角	A1～A2：90° 00'
設計荷重	TL-10（橋歴板より）
上部工	鋼鋼単純桁橋x2連
下部工	橋台：逆T式橋台 橋脚：張出付壁式小判型橋脚
基礎工	直接基礎
支系工	鋼製支系：線接触支承
適用方示書等	鋼道橋構設計示方書・同解説（昭和39年）

## 対策工法一覧表

- 伸縮部補修工  
防護柵補修工  
舗装版打換え工  
舗装版クラック補修工  
排水装置補修工  
断面修復工(左官工法)  
断面修復工(充填工法)  
鉄筋防錆工  
~~表面処理工(表面含浸材塗布)~~  
表面処理工(モルタルペースト塗布)  
孔食補修工  
高力ボルト代替工  
支承防錆工  
塗替え塗装工  
仮設足場工  
吊り足場  
足場・防護工  
~~岩管傾斜足場~~

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと

路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修計画一般図		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 1		
令和	4	年度施工	
琴浦町役場			

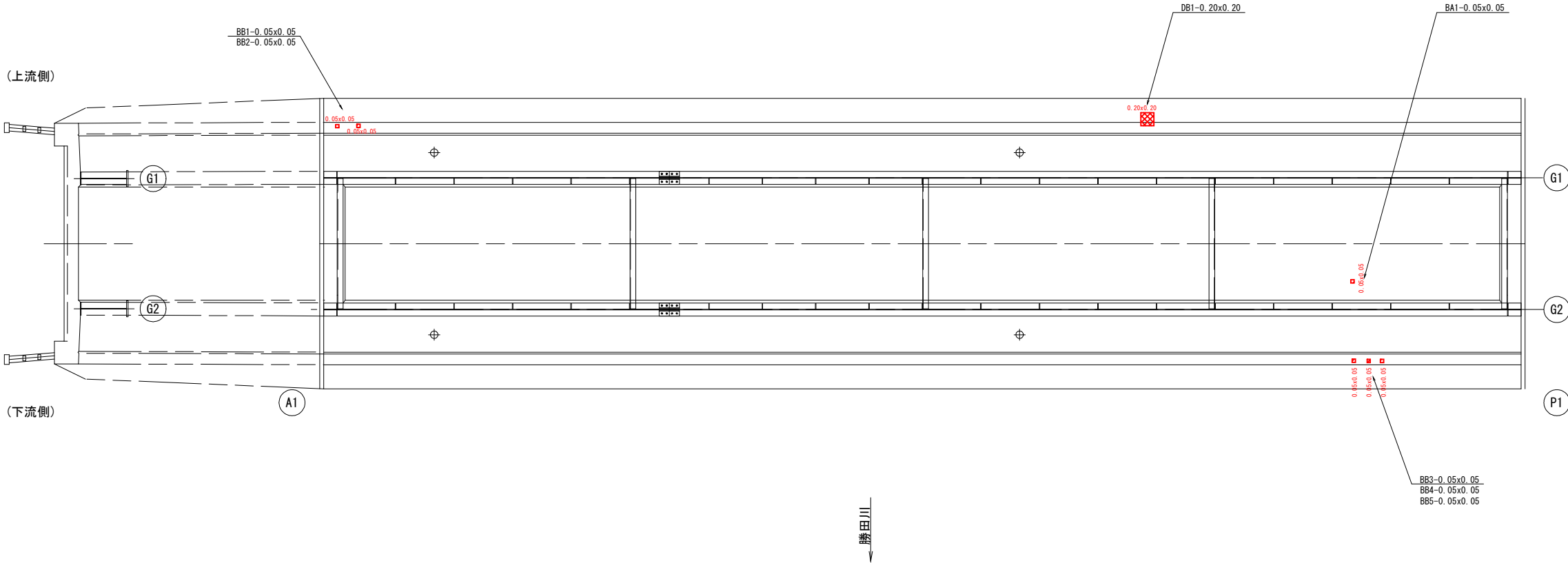
釈迦平橋 補修図（その1）

S=1:40

断面修復工(左官工法)、鉄筋防錆工

第1径間(A1橋台～P1橋脚)

桁下平面展開図



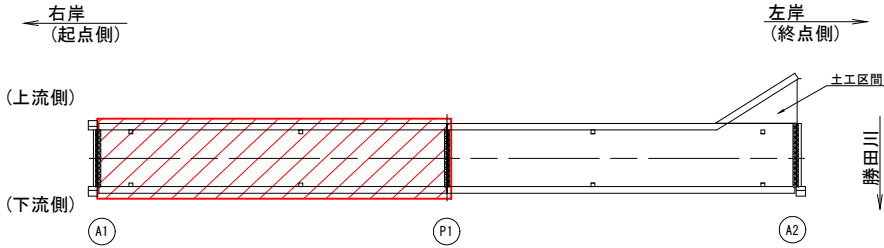
凡 例

補修工法		
D		断面修復工(左官工法)
_DA0-0.00x0.00_ 補修工法 補修番号-補修幅x補修幅		
B		鉄筋防錆工
_BA0-0.00x0.00_ 補修工法 補修番号-補修幅x補修幅		

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 補修対象ひびわれ幅については、塩分の影響を受けていないことから、0.3mm以上とし、0.3mm未満のひびわれについては、補修対象外とする。
- ※ 上部工の断面修復工(左官工法)は、深さ80mmと想定する。

位置図

S=1:200



路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図(その1)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 2		
令和	4 年度施工		
琴浦町役場			

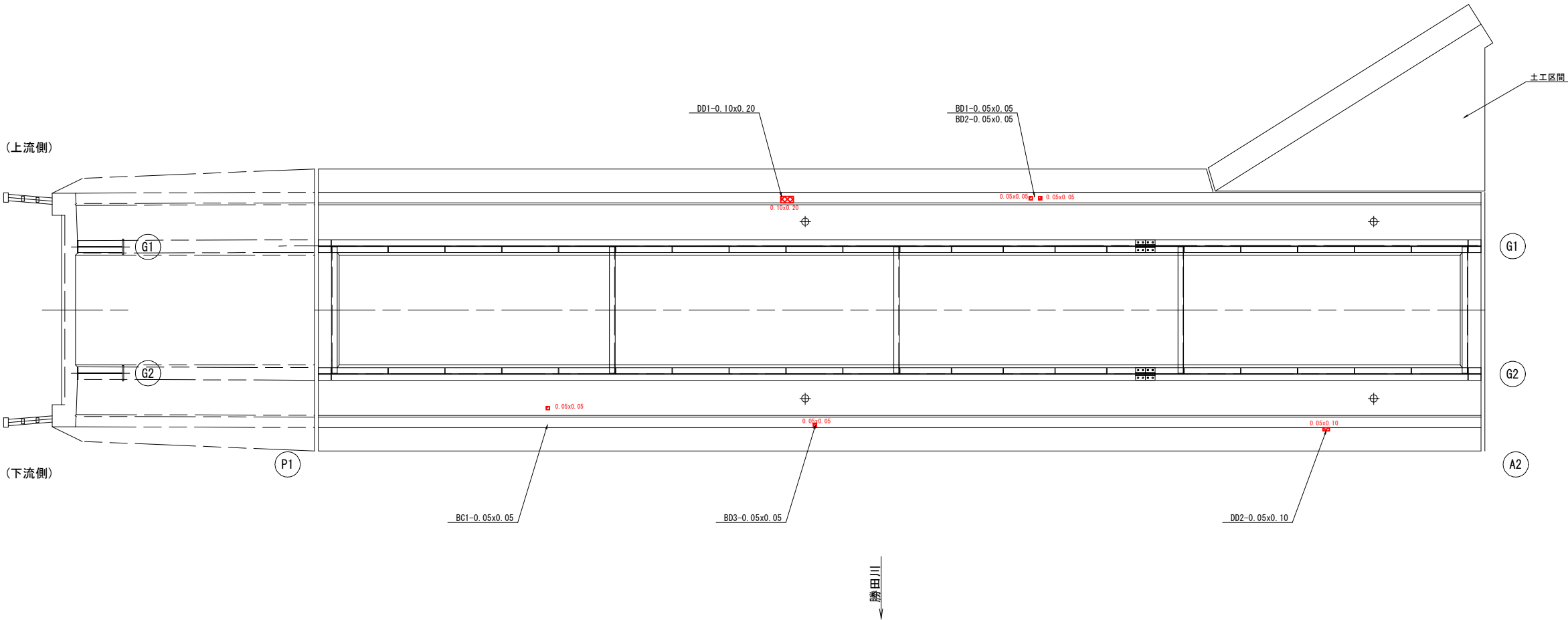
釈迦平橋 補修図（その2）

S=1:40

断面修復工(左官工法)、鉄筋防錆工

第2径間(P1橋脚～A2橋台)

桁下平面展開図



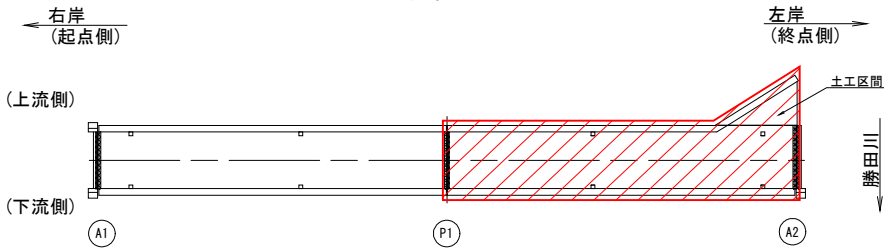
凡 例

補修工法		
D		断面修復工(左官工法)
_DA0-0.00x0.00_ 補修工法 補修番号-補修幅x補修幅		
B		鉄筋防錆工
_BA0-0.00x0.00_ 補修工法 補修番号-補修幅x補修幅		

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 補修対象ひびわれ幅については、塩分の影響を受けていないことから、0.3mm以上とし、0.3mm未満のひびわれについては、補修対象外とする。
- ※ 上部工の断面修復工(左官工法)は、深さ80mmと想定する。

位置図

S=1:200



路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図(その2)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 3		
令和	4	年度施工	
琴浦町役場			

釈迦平橋 補修図（その3）

S=1:30

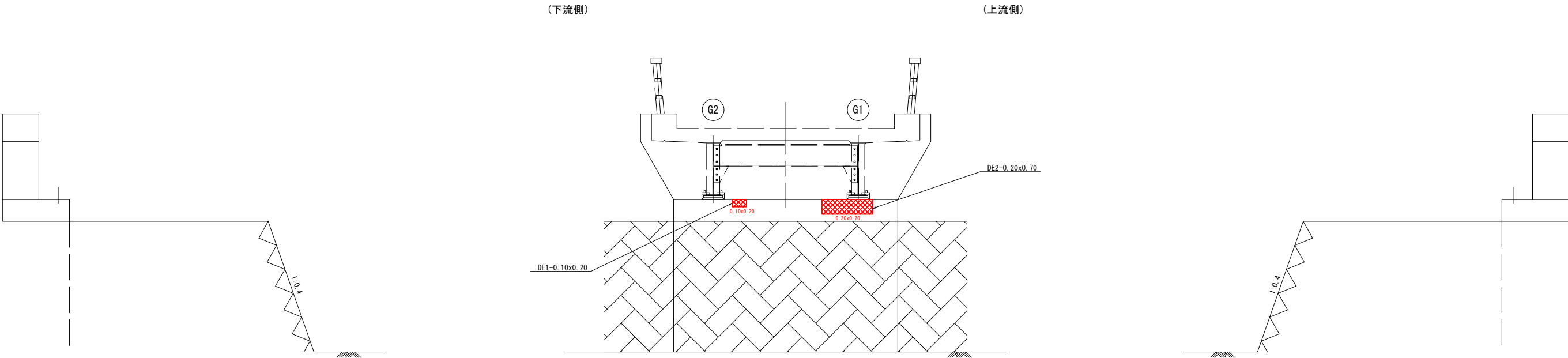
断面修復工(左官工法)

A1橋台

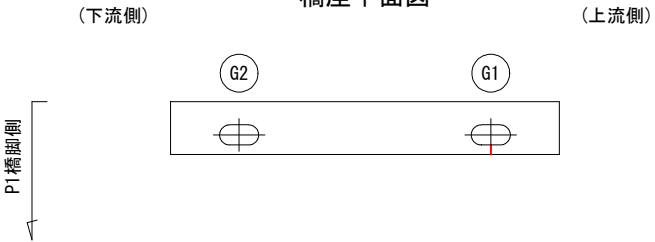
正面図

下流側側面図


上流側側面図



橋座平面図



凡 例

補修工法	
D	 断面修復工(左官工法)
DA0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 補修対象ひびわれ幅については、塩分の影響を受けていないことから、0.3mm以上とし、0.3mm未満のひびわれについては、補修対象外とする。
- ※ 下部工の断面修復工(左官工法)は、深さ100mmと想定する。

路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図 (その3)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 4		
令和 4 年度施工			
琴浦町役場			

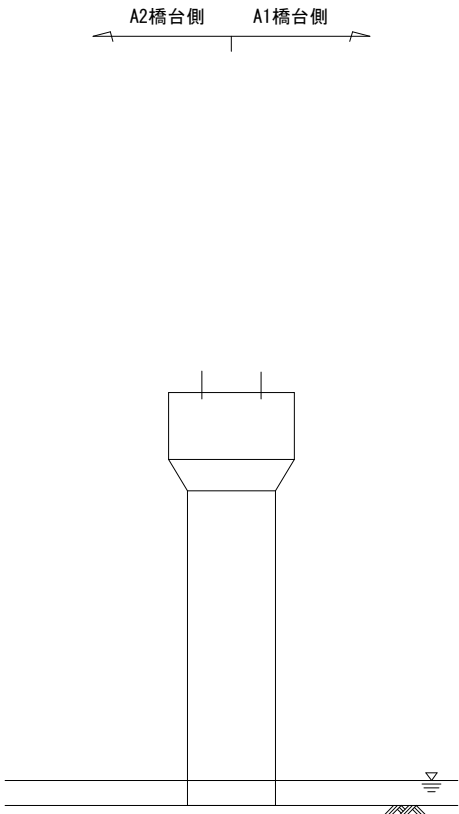
釈迦平橋 補修図（その4）

S=1:30

断面修復工(左官工法)、鉄筋防錆工

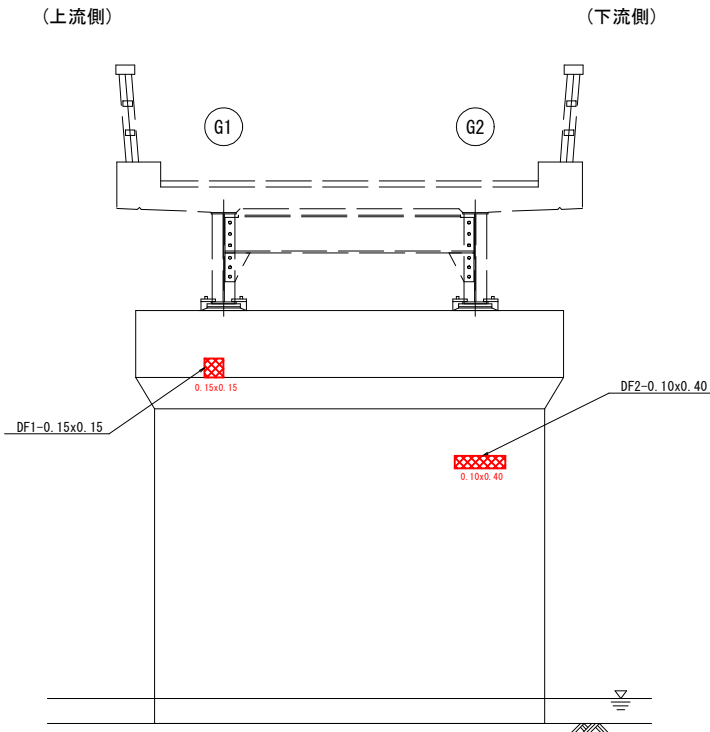
P1橋脚

上流側側面図

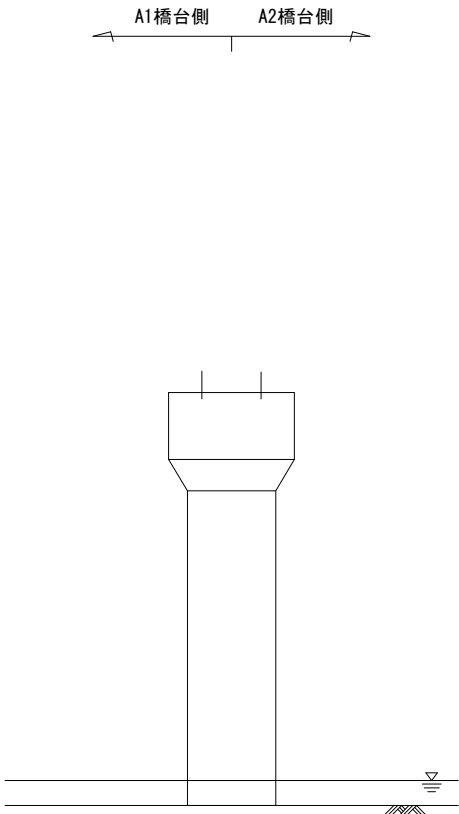


正面図

起点側

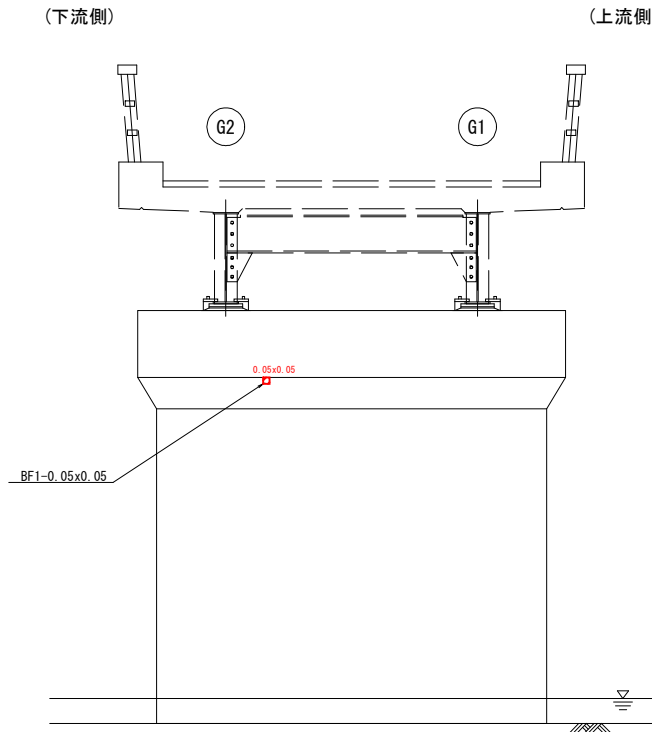


下流側側面図

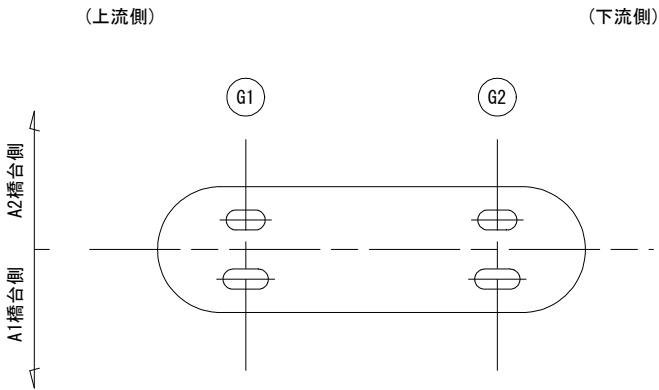


正面図

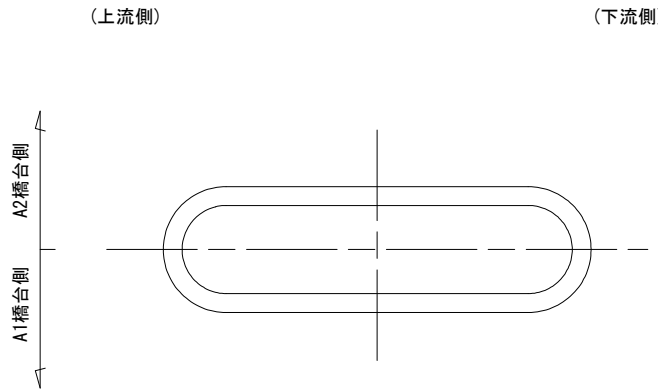
終点側



橋座平面図



梁下平面図



凡 例

補修工法		
D		断面修復工(左官工法)
_DA0-0.00x0.00_ 補修工法_補修番号-補修幅x補修幅		
B		鉄筋防錆工
_BA0-0.00x0.00_ 補修工法_補修番号-補修幅x補修幅		

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 補修対象ひびわれ幅については、塩分の影響を受けていないことから、0.3mm以上とし、0.3mm未満のひびわれについては、補修対象外とする。
- ※ 下部工の断面修復工(左官工法)は、深さ100mmと想定する。

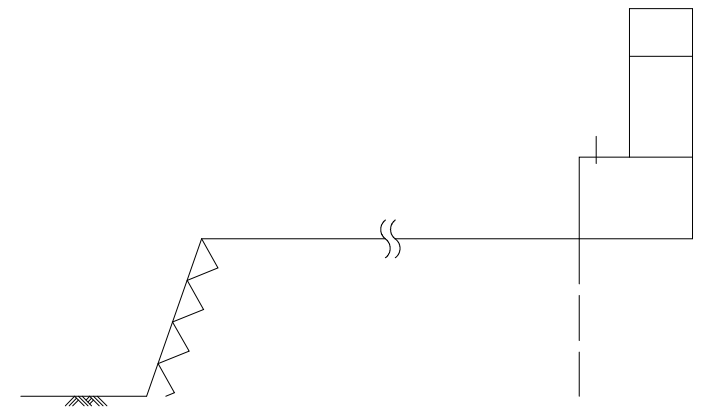
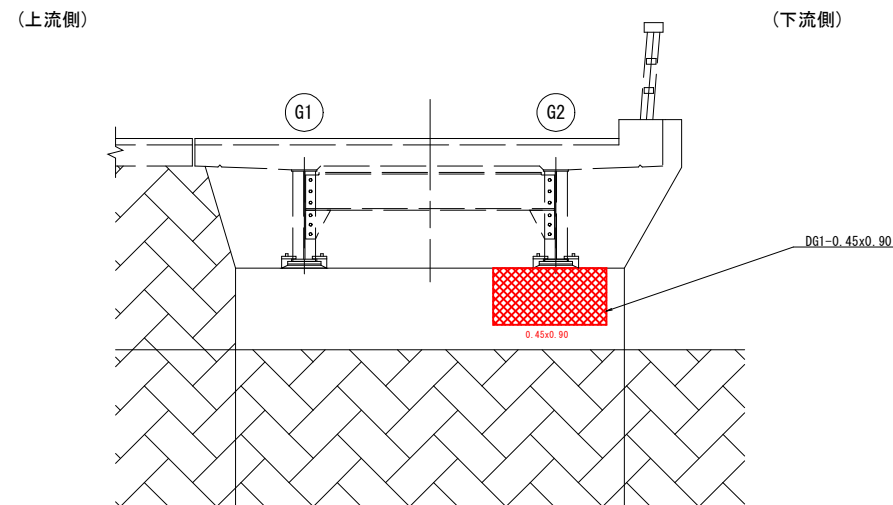
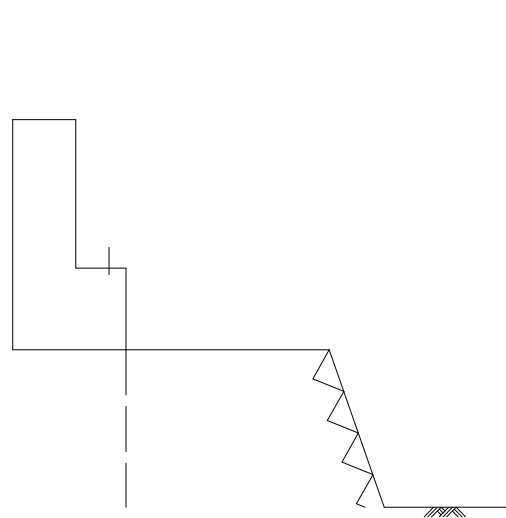
路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図(その4)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 5		
令和 4 年度施工			
琴浦町役場			

S=1 : 30

## A2橋台

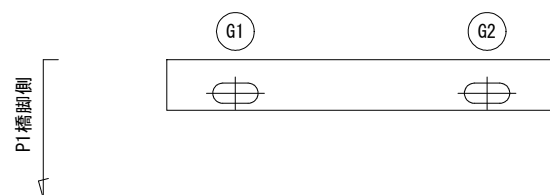
正面図

下流側側面図

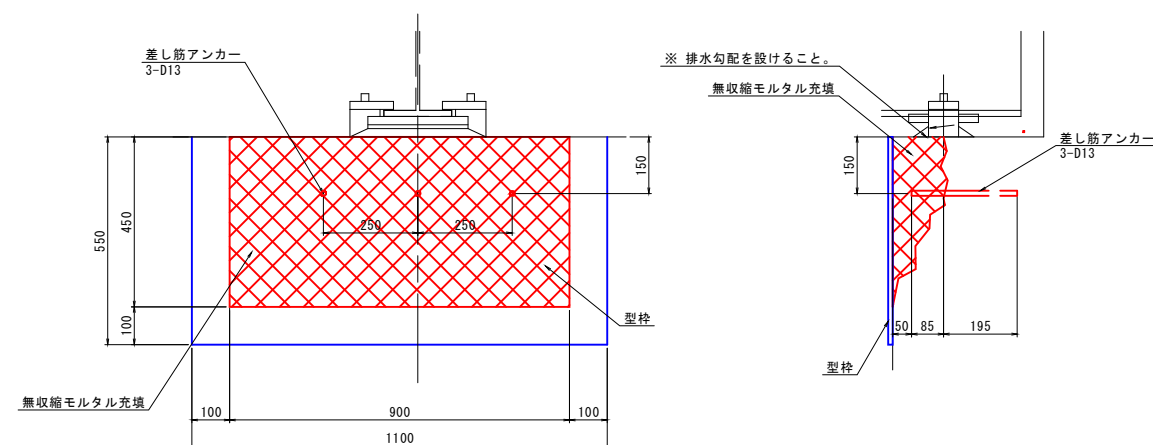


(上流側)

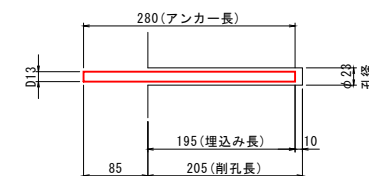
(下流側)




S=1:10



S=1:5



### 補修工法

補修工法		
D		断面修復工(充填工法)
<u>DA0-0.00x0.00</u>		<u>補修工法 補修番号-補修幅x補修幅</u>

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地で再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等により、剥落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 補修対象ひびわれ幅については、ひび分の影響を受けていないこととから、0.3mm以上とし、0.3mm未満のひびわれについては、補修対象外とする。
- ※ 支床周りの橋座面に排水勾配を設けること。

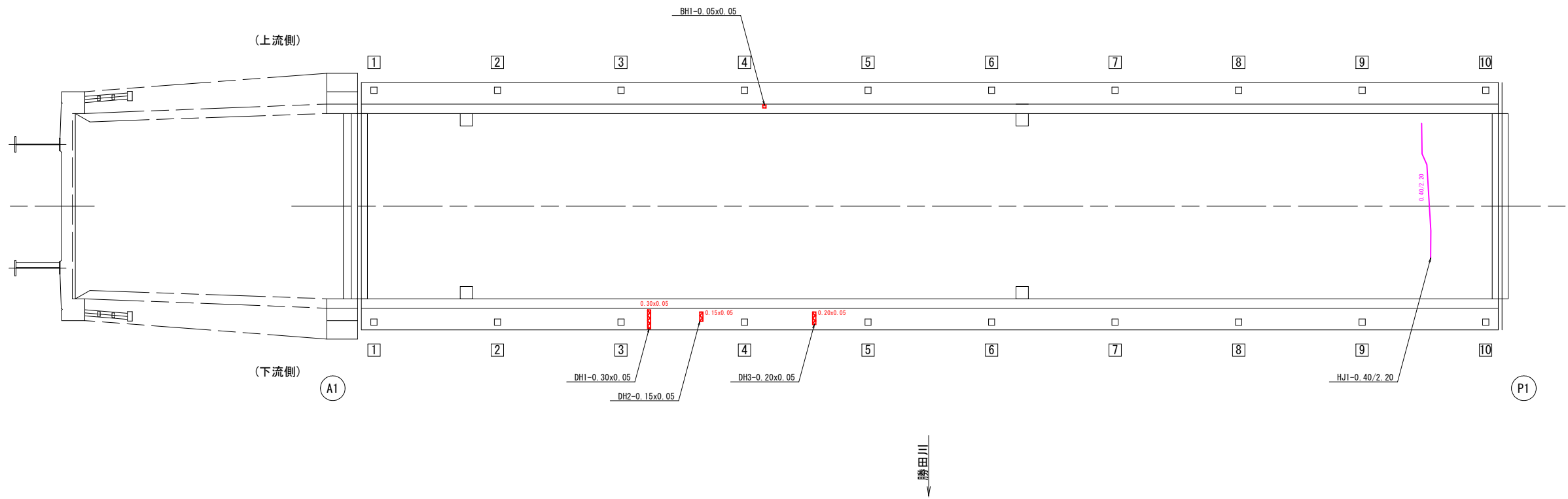
路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図(その5)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 6		
令和	4	年度施工	
琴浦町役場			

釈迦平橋 補修図（その6）

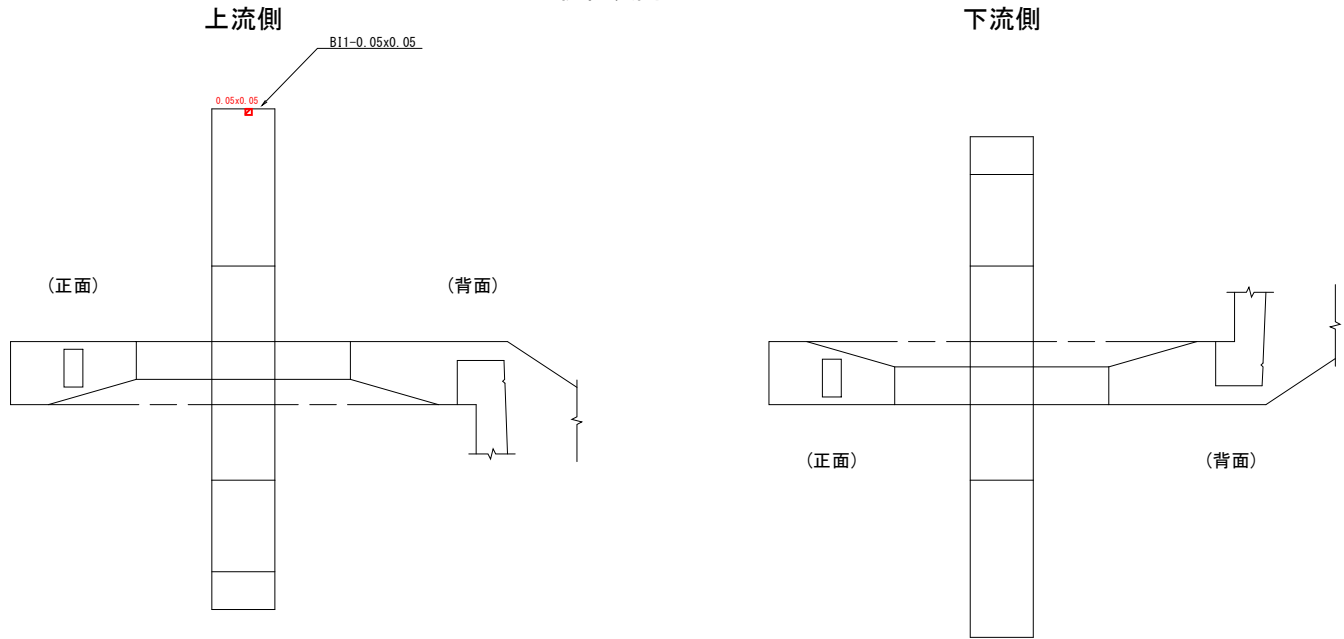
断面修復工（左官工法）、鉄筋防錆工、舗装版クラック補修工

第1径間（A1橋台～P1橋脚）

平面展開図 S=1:40



親柱展開図 S=1:30



凡 例

補修工法		
H		舗装版クラック補修工
D		断面修復工（左官工法）
B		鉄筋防錆工
HA0-0.00/0.00 補修工法 補修番号-幅/補修延長		
DA0-0.00x0.00 補修工法 補修番号-補修幅x補修幅		
BA0-0.00x0.00 補修工法 補修番号-補修幅x補修幅		

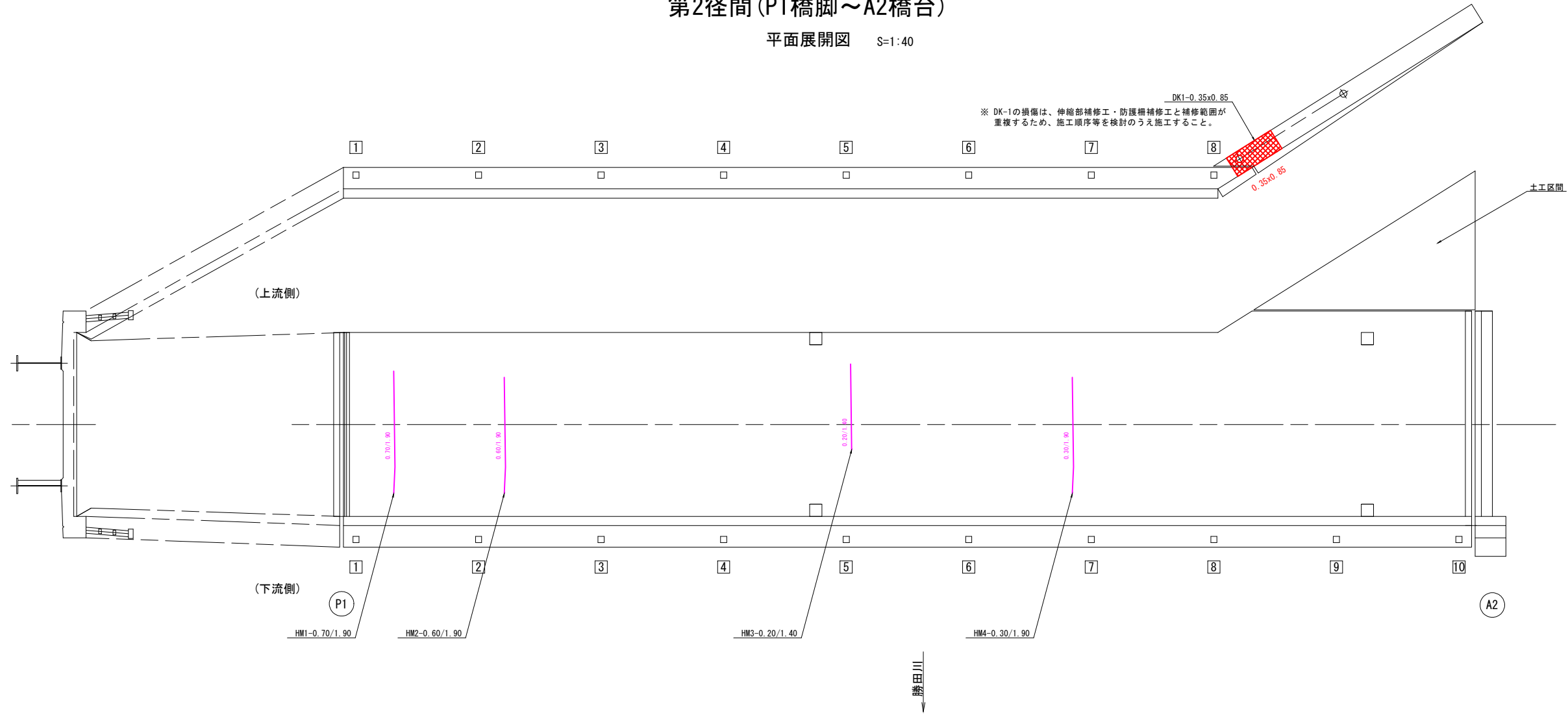
- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 補修対象ひびわれ幅については、塩分の影響を受けていないことから、0.3mm以上とし、0.3mm未満のひびわれについては、補修対象外とする。
- ※ 上部工の断面修復工（左官工法）は、深さ80mmと想定する。

路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図 (その6)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 7		
令和 4 年度施工			
琴浦町役場			

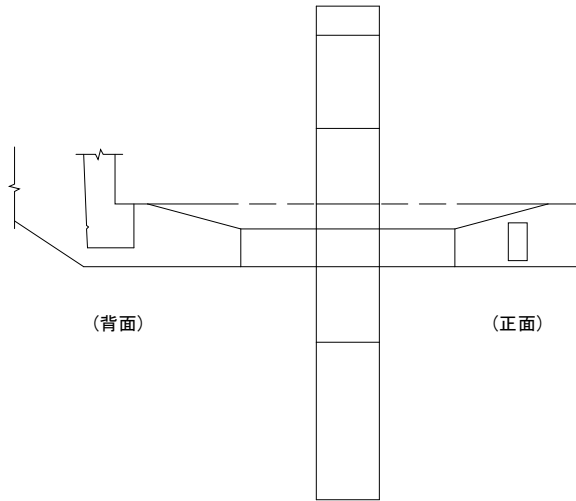


釈迦平橋 補修図（その7）  
断面修復工（左官工法）、舗装版クラック補修工  
第2径間（P1橋脚～A2橋台）

平面展開図 S=1:40



親柱展開図  
下流側 S=1:30



凡 例

補修工法		
H		舗装版クラック補修工
D		断面修復工（左官工法）
HA0-0.00/0.00 補修工法 補修番号-幅/補修延長		
DA0-0.00x0.00 補修工法 補修番号-補修幅x補修幅		

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 補修対象ひびわれ幅については、塩分の影響を受けていないことから、0.3mm以上とし、0.3mm未満のひびわれについては、補修対象外とする。
- ※ 断面修復工（左官工法）は、深さ150mmと想定する。

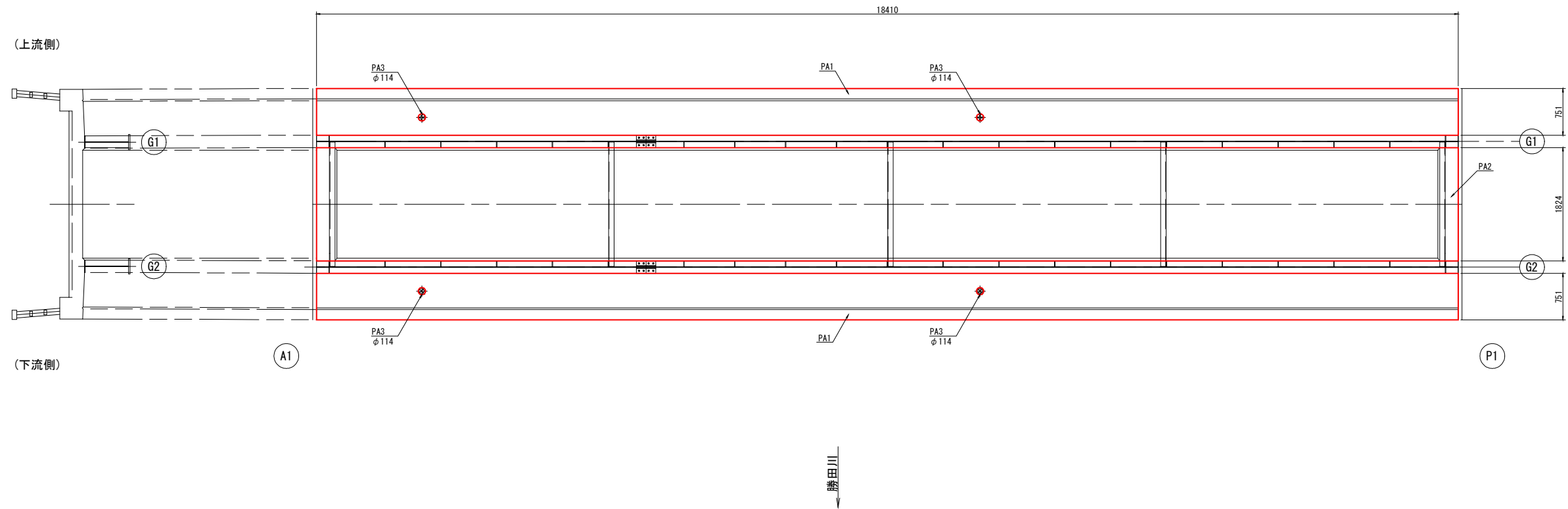
路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図（その7）		
単 位	（MM）	縮 尺	（図 示）
図 号	全 22 葉中の内 8		
令和	4	年度施工	
琴浦町役場			

釈迦平橋 補修図（その8） S=1:40

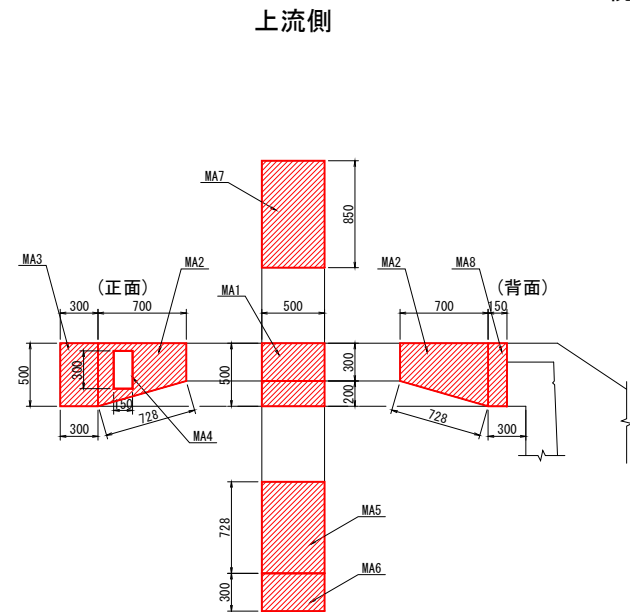
表面処理工（表面含浸材塗布）、表面処理工（モルタルペースト塗布）

第1径間（A1橋台～P1橋脚）

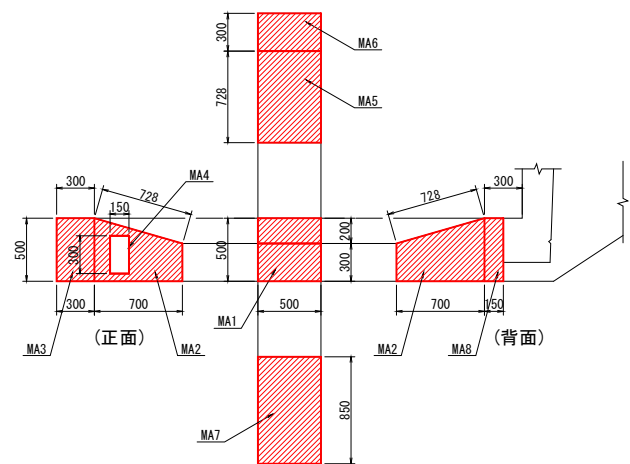
桁下平面展開図



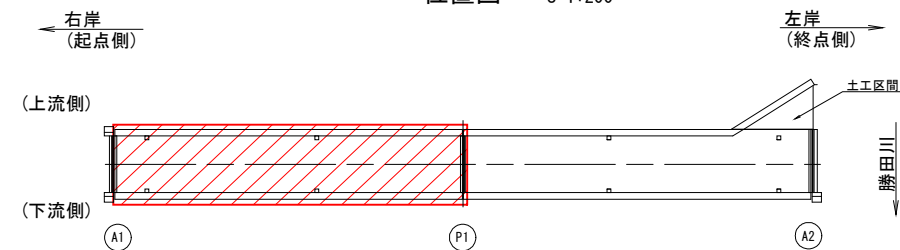
親柱展開図 S=1:30





下流側



位置図 S=1:200



凡例

P		表面処理工（表面含浸材塗布）
PA0		補修工法 補修番号
M		表面処理工（モルタルペースト塗布）
MA0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材はケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧水洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量:0.30kg/m<sup>2</sup>以上とすること。
- ※ モルタルペーストの厚さは、1mm程度とすること。

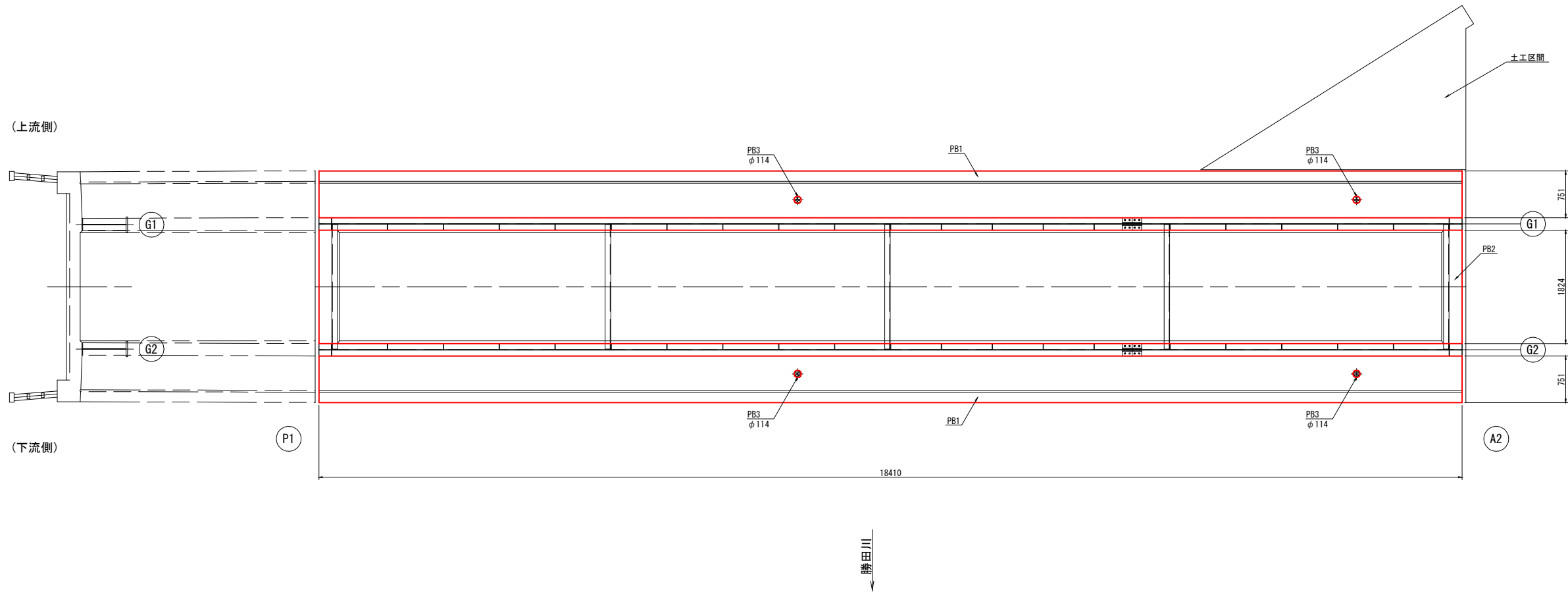
路線名	町道 釈迦平線
釈迦平橋橋梁修繕工事	
位 置	東伯郡琴浦町大字山川
図 名	補修図(その8)
単 位	(MM) 縮 尺 (図 示)
図 号	全 22 葉中の内 9
令和 4 年度施工	
琴浦町役場	

釈迦平橋 補修図（その9） S=1:40

表面処理工（表面含浸材塗布）、表面処理工（モルタルペースト塗布）

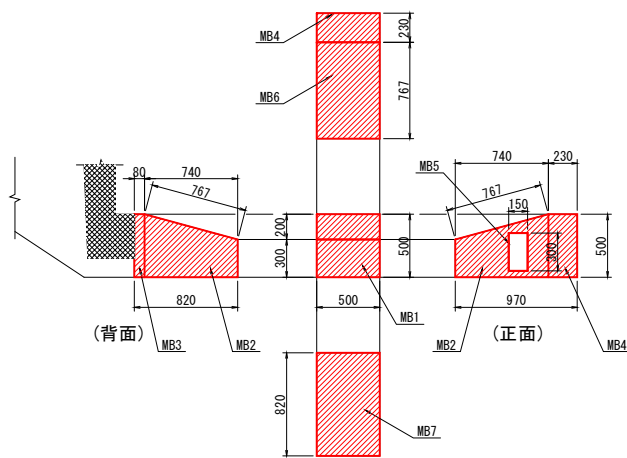
第2径間（P1橋脚～A2橋台）

桁下平面展開図



親柱展開図 S=1:30

下流側

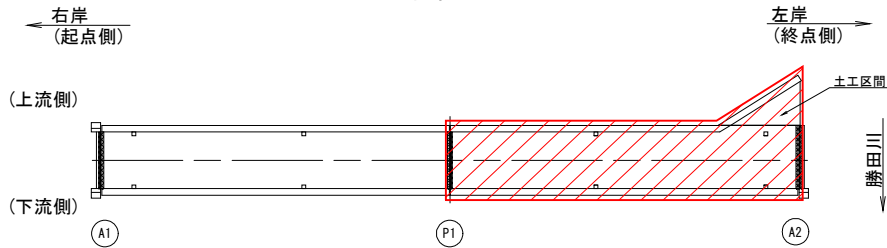


凡 例

P		表面処理工（表面含浸材塗布）
PA0		補修工法 補修番号
M		表面処理工（モルタルペースト塗布）
MA0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材はケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧水洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量:0.30kg/m<sup>2</sup>以上とすること。
- ※ モルタルペーストの厚さは、1mm程度とすること。

位置図 S=1:200



路線名	町道 釈迦平線		
	釈迦平橋橋梁修繕工事		
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図(その9)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22	葉中の内	10
令和	4	年度施工	
琴浦町役場			

釈迦平橋 補修図（その10）
 S=1:40

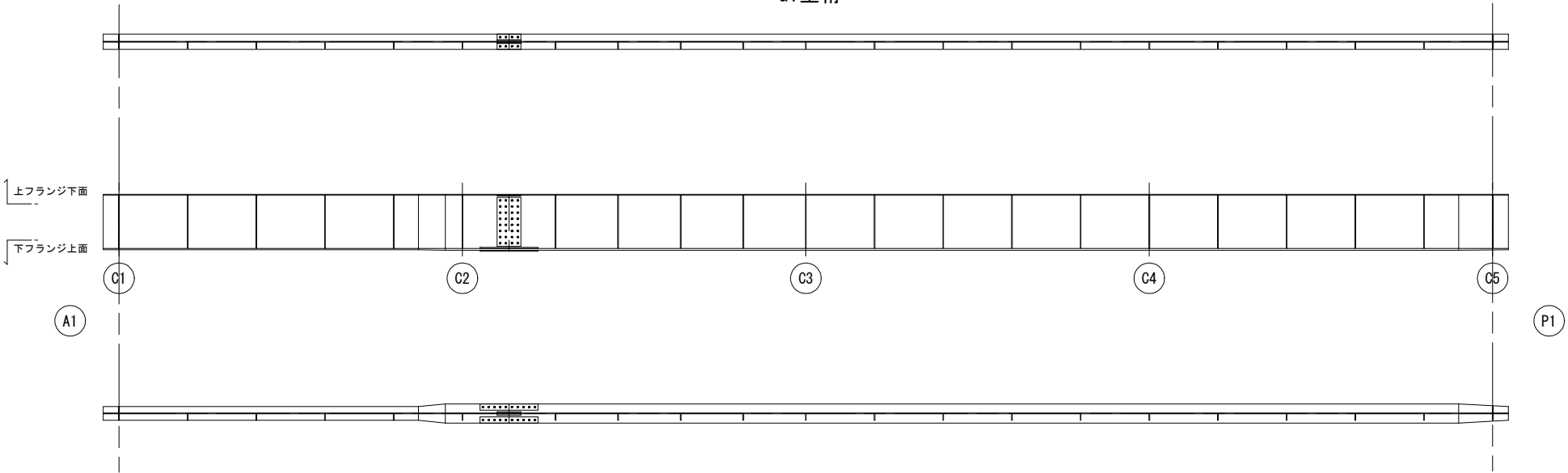
高力ボルト取替工  
 第1径間 (A1橋台～P1橋脚)

G1主桁

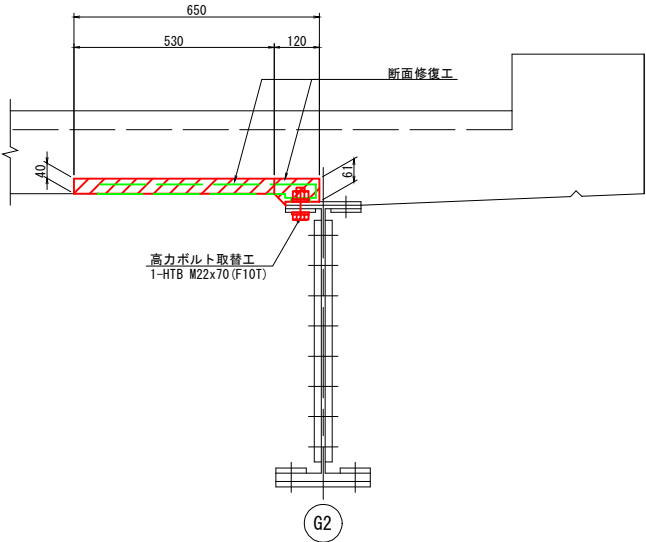
上フランジ下面

側面 (内側)

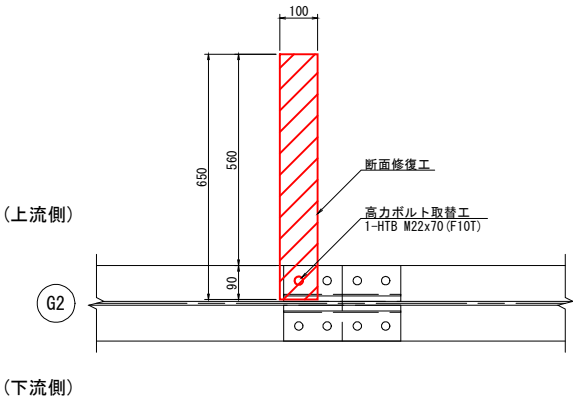
下フランジ上面



添接部 詳細図  
 断面図
 S=1:10



平面図

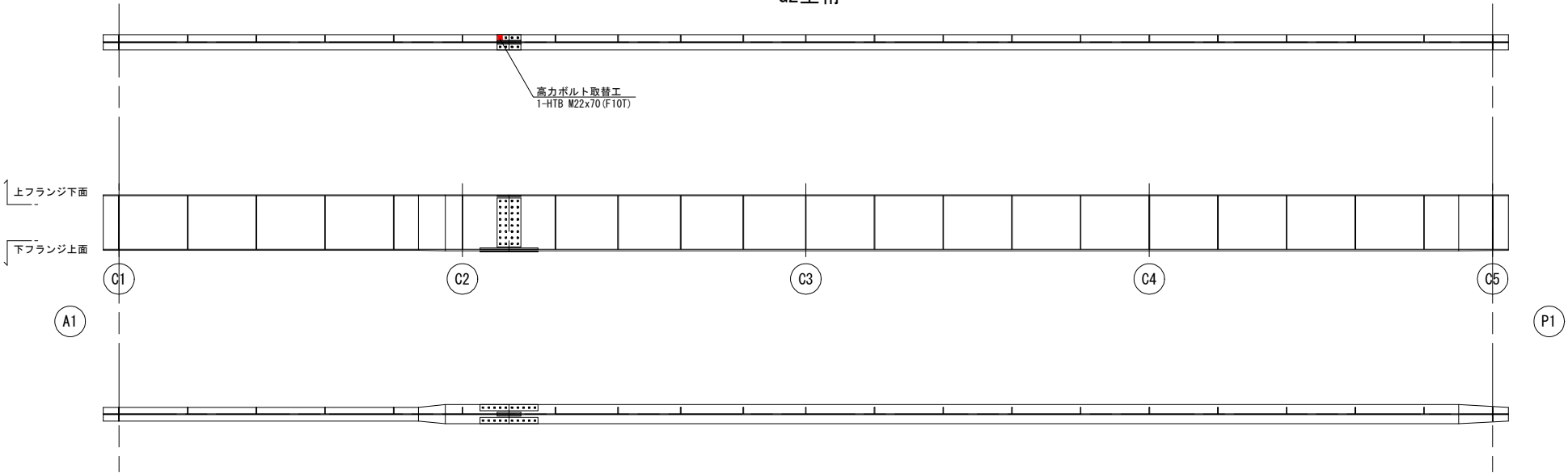


G2主桁

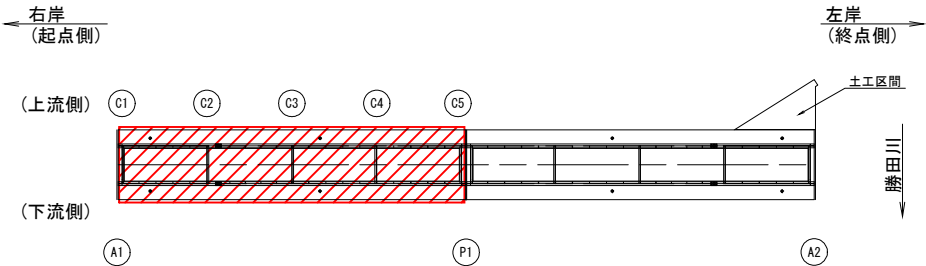
上フランジ下面

側面 (内側)

下フランジ上面



位置図 S=1:200



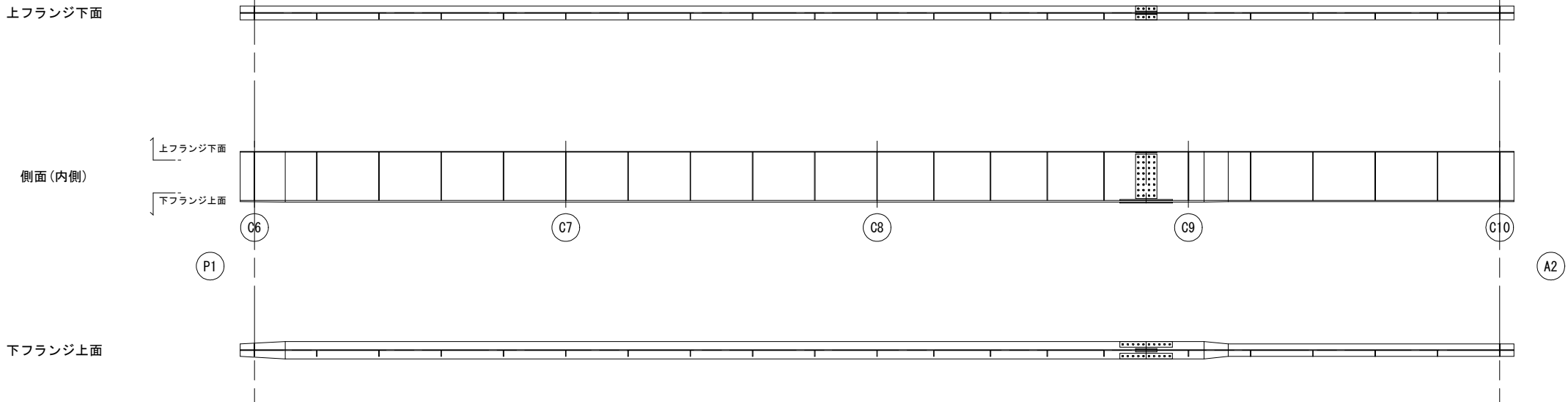
- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 高力ボルトの締付は頭締めとする。
- ※ 高力ボルトの取替対象は、1添接当たり1本程度のボルトの折損であったことから、折損が生じたボルトのみ取替を行う。

路線名	町道 釈迦平線		
	釈迦平橋橋梁修繕工事		
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図(その10)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22	葉中の内	11
令和 4	年度施工		
	琴浦町役場		

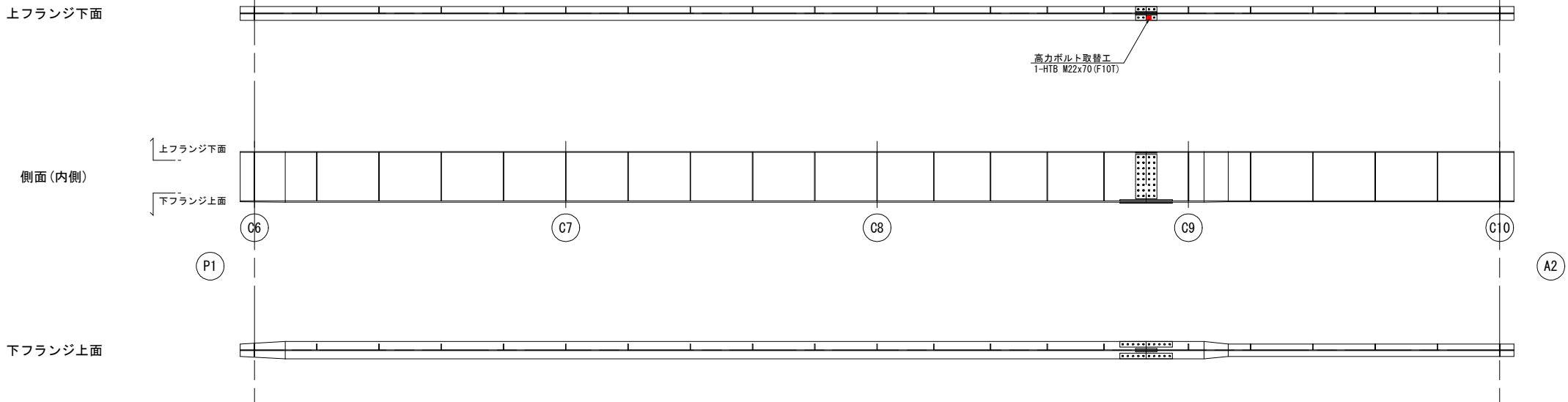
釈迦平橋 補修図（その11） S=1:40

高力ボルト取替工  
第2径間 (P1橋脚～A2橋台)

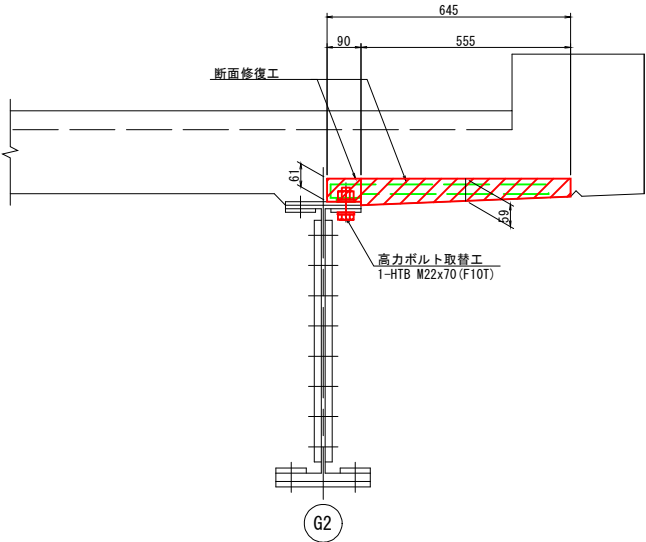
G1主桁



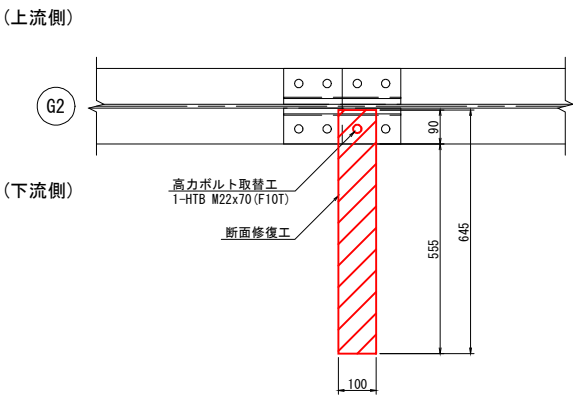
G2主桁



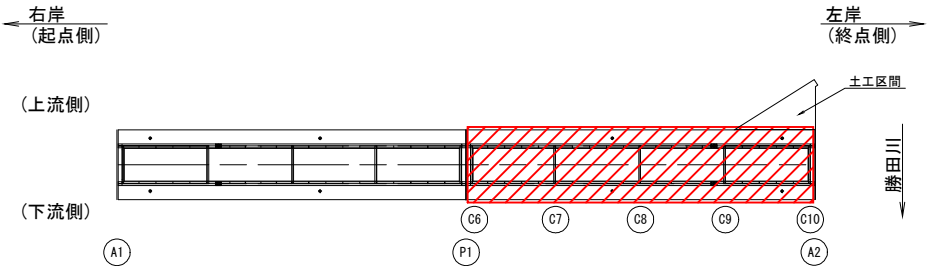
添接部 詳細図  
断面図 S=1:10



平面図



位置図 S=1:200



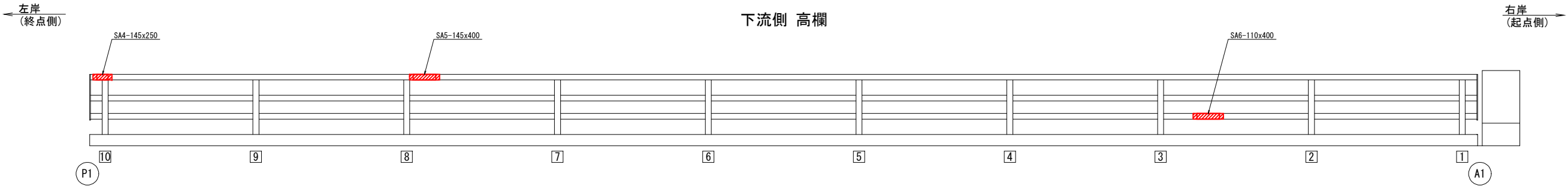
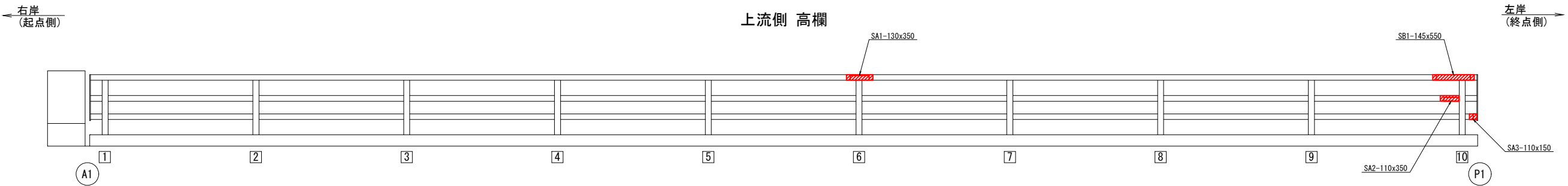
- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 高力ボルトの締付は頭締めとする。
- ※ 高力ボルトの取替対象は、1添接当たり1本程度のボルトの折損であったことから、折損が生じたボルトのみ取替を行う。

路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図(その11)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 12		
令和 4	年度施工		
琴浦町役場			

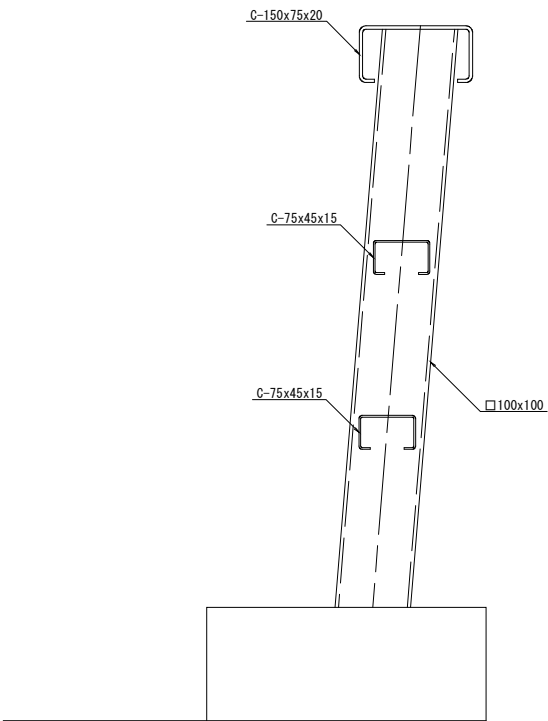
釈迦平橋 補修図（その12） S=1:30

孔食補修工

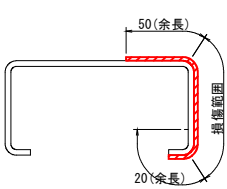
第1径間 (A1橋台～P1橋脚)



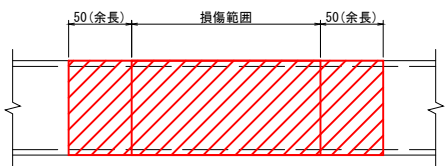
高欄断面図 S=1:5



断面図 補修詳細図

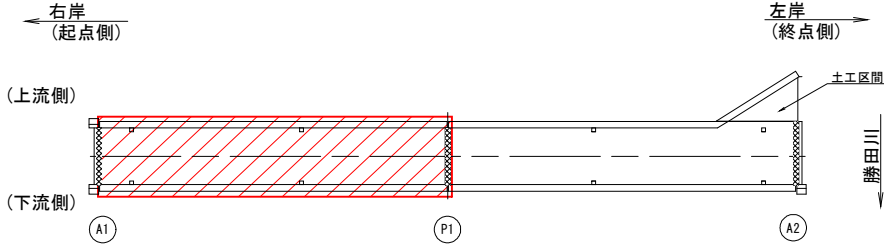


正面図



※ビーム端部の補修時は、余長分を支柱およびプレートに接着させること。  
※端部処理は、入念に行うこと。

位置図 S=1:200



凡 例

S		孔食補修工
SA0-000x000		補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

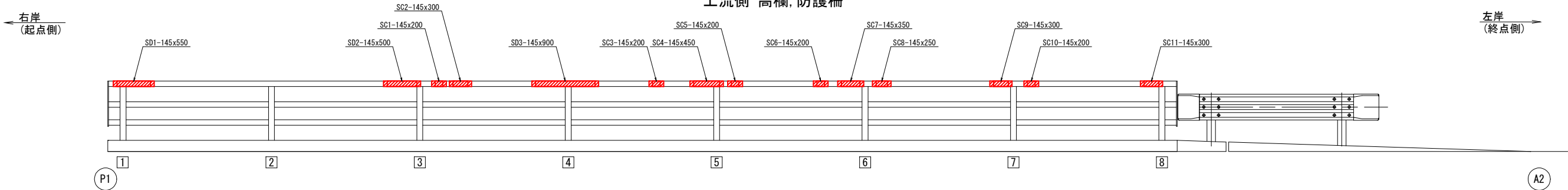
路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図(その12)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 13		
令和 4 年度施工			
琴浦町役場			

釈迦平橋 補修図（その13） S=1:30

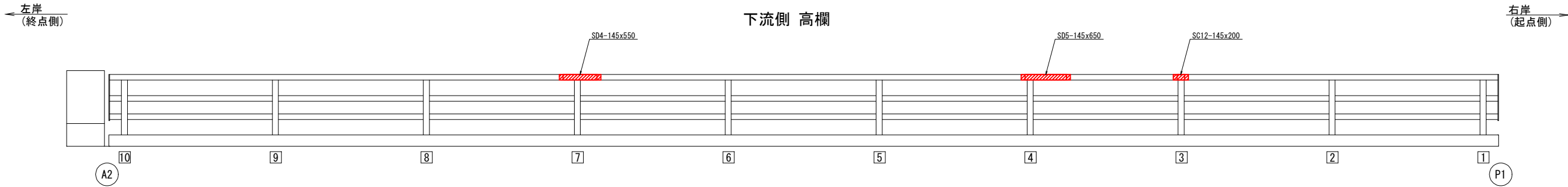
孔食補修工

第2径間 (P1橋脚～A2橋台)

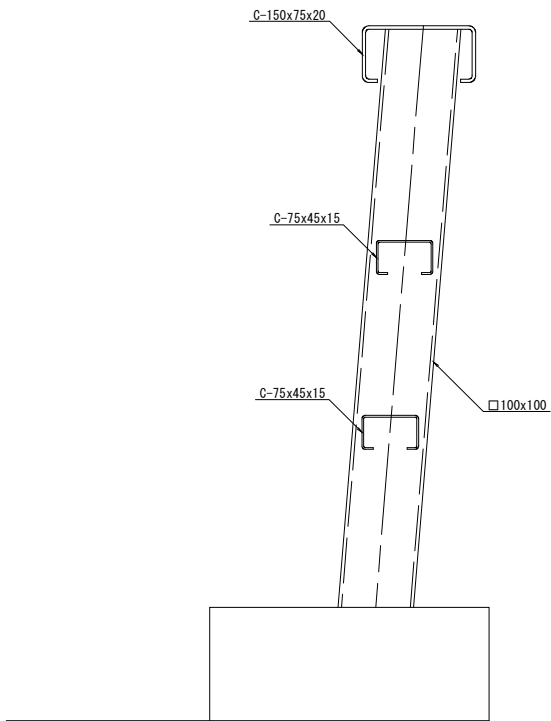
上流側 高欄, 防護柵



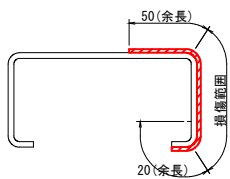
下流側 高欄



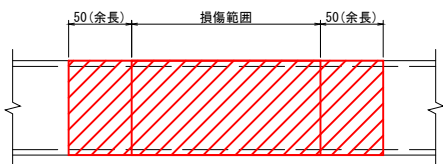
高欄断面図 S=1:5



断面図



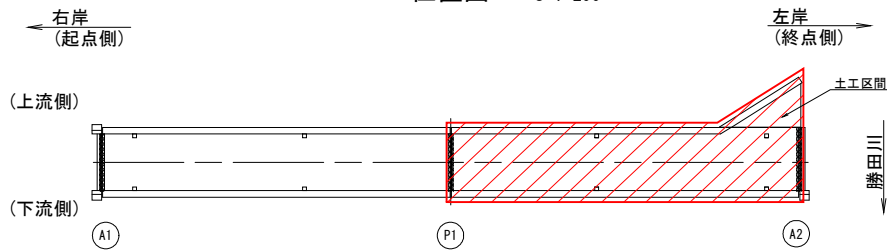
補修詳細図



正面図

※ビーム端部の補修時は、余長分を支柱およびプレートに接着させること。  
※端部処理は入念に行うこと。

位置図 S=1:200



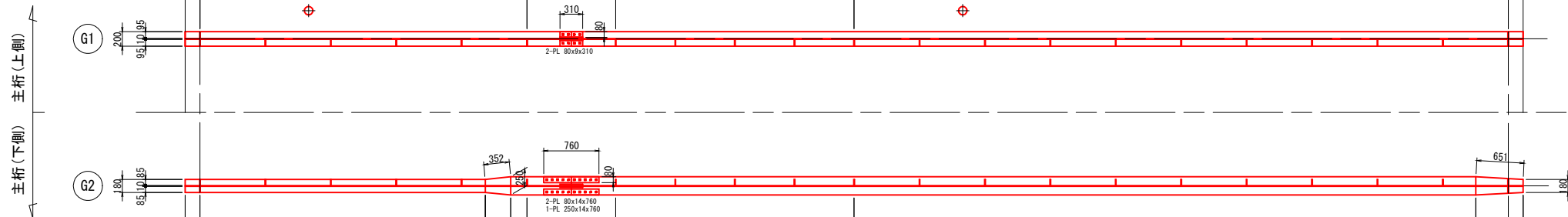
凡 例

S		孔食補修工
SA0-000x000		補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。  
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。  
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。  
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

路線名	町道 釈迦平線		
	釈迦平橋橋梁修繕工事		
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図(その13)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22	葉中の内	14
令和	4	年度施工	
	琴浦町役場		

第1,2径間(A1橋台～A2橋台)



(下流側内側)

A1

A2

P1

205

5x900=4500

1220

4x820=3280

10x900=9000

205

10

700

16

2-PL 80x1700

1-PL 80x1700

1-PL 180x101200

2-PL 310x1700

2-PL 80x1700

2-PL 310x1700

2-PL 80x14x760

1-PL 250x14x760

支承防錆工

16

22

350

4130

1-Fig. 180x16x4130

13280

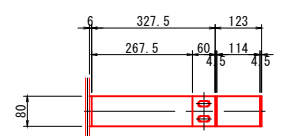
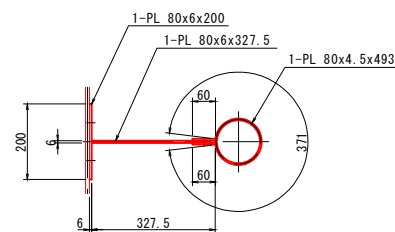
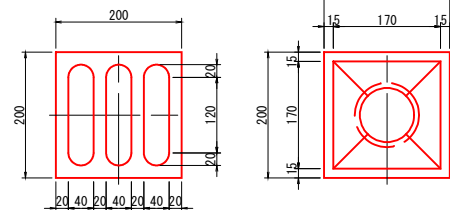
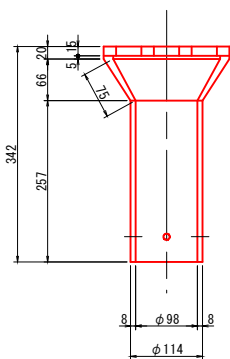
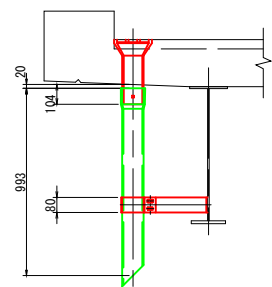
14280

1-Fig. 250x22x14280

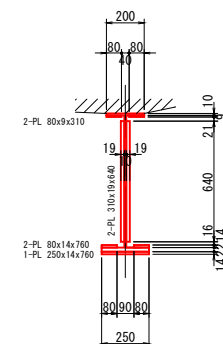
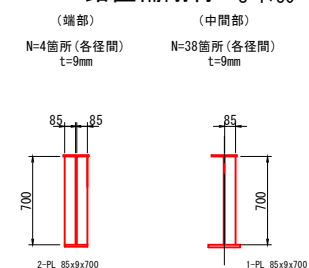
650

22

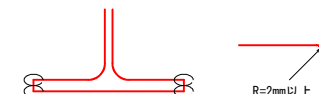
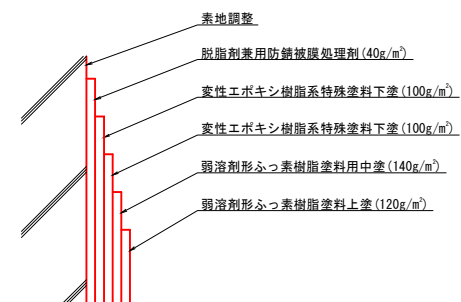
支承防錆工



1-PL 80x4.5x493  
1-PL 80x6x327.5  
1-PL 80x6x200



角部 曲面仕上げ（主桁）  
（参考図）



※ 部材の角部は膜厚の確保がしにくい箇所であるため、半径2R以上の曲面仕上げを行い、一般部と同等の塗膜性能を得ること。

(出典：鋼道路橋防食便覧 平成26年3月 II-48 より)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )
素地調整	3 種	
表面処理	脱脂剤兼用防錆被膜処理剤	40
下 塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
下 塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

- ※ 素地調整の種類は3種ケレンBを想定。
- ※ 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物(油、ゴミ等)を十分に除去すること。
- ※ 塗装面のケレンは十分にすること。
- ※ 気温5℃以下、湿度85%以上では施工しないこと。
- ※ 塗布量は標準使用量以上とする。
- ※ 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
- ※ 材料は可使時間内に塗布を行い、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 降雨、降雪のとき、またはその恐れが或る時は使用しないこと。

路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯都琴浦町大字山川		
図 名	補修図(その14)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 15		
令和	4	年度施工	
琴浦町役場			

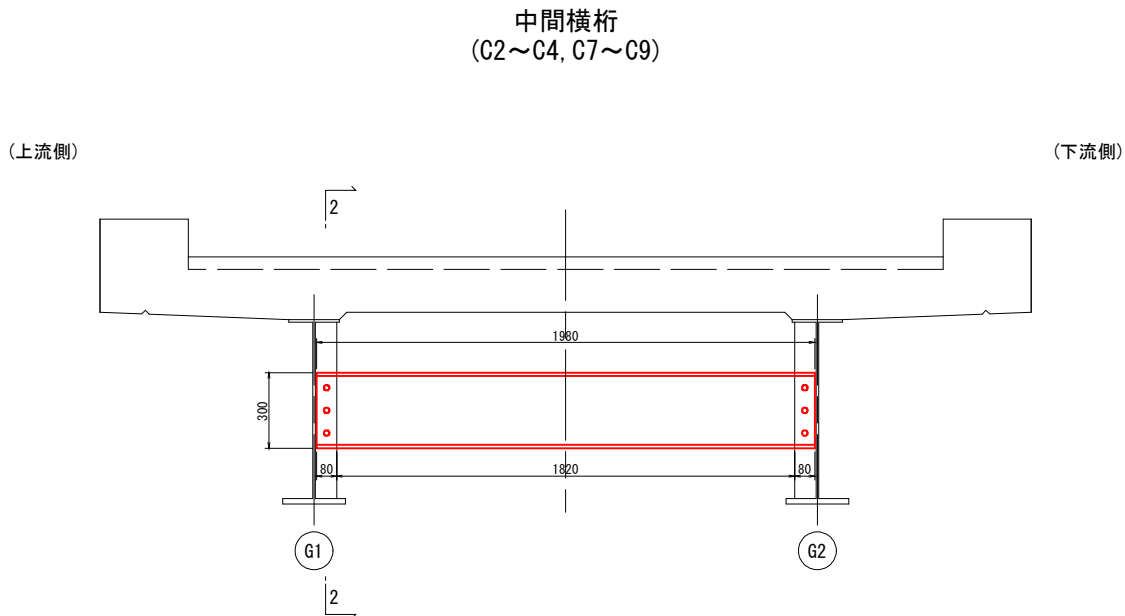
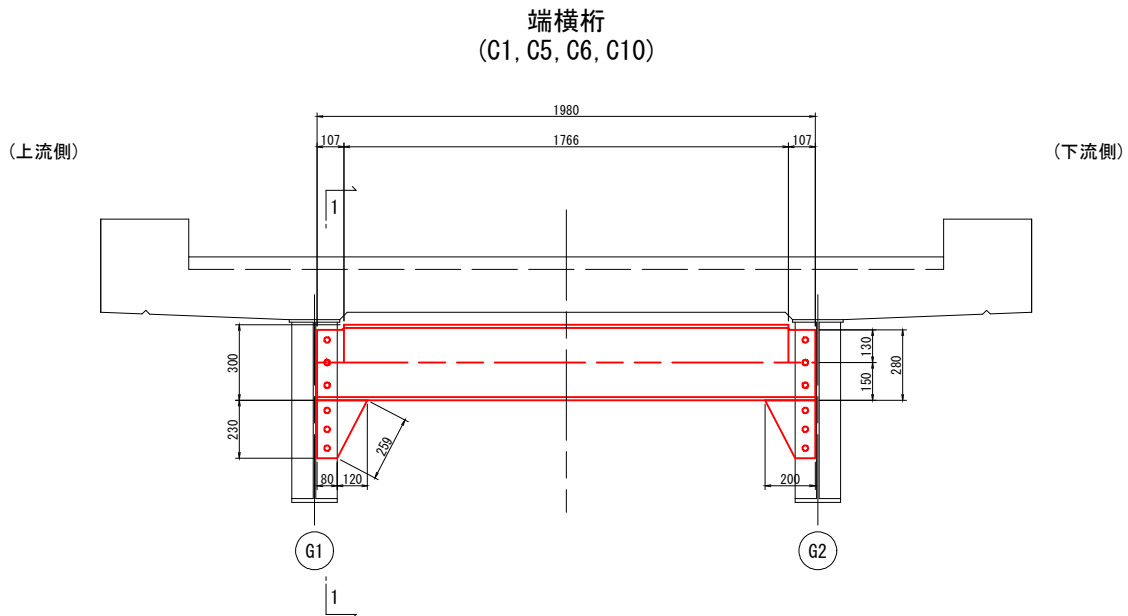
- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。



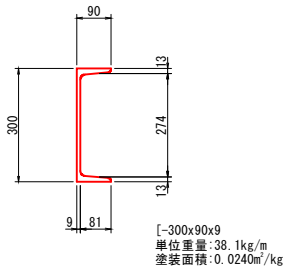
塗替え塗装工

第1,2径間(A1橋台～A2橋台)

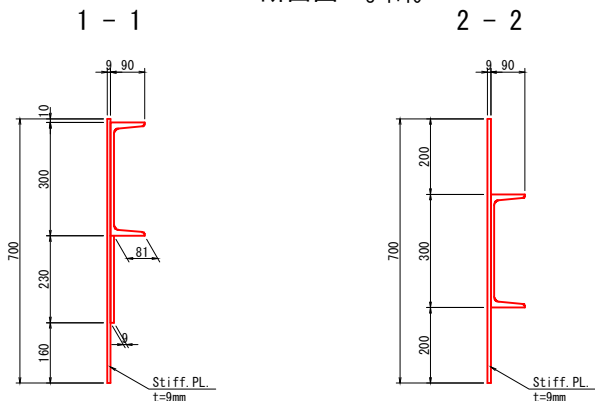
横桁



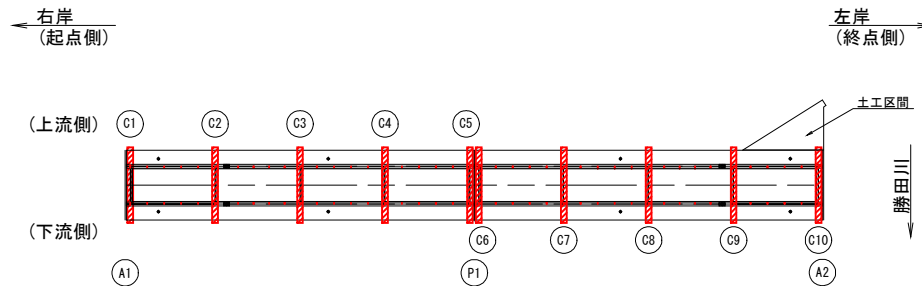
横桁詳細図 S=1:10



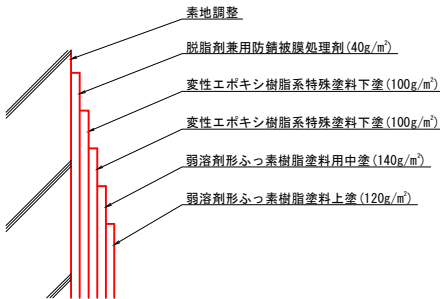
断面図 S=1:10



位置図 S=1:200



塗替え塗装工  
(参考図)



塗装仕様：錆転換型防食塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m²)
素地調整	3 種	
表面処理	脱脂剤兼用防錆被膜処理剤	40
下 塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
下 塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

- ※ 素地調整の種類は3種ケレンBを想定。
- ※ 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物(油、ゴミ等)を十分に除去すること。
- ※ 塗装面のケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下、湿度85RH%以上では施工しないこと。
- ※ 塗布量は標準使用量以上とすること。
- ※ 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
- ※ 材料は可使用時間内に塗布を行い、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 降雨、降雪のとき、またはその恐れが或る時は使用しないこと。

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図(その15)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 16		
令和 4 年度施工			
琴浦町役場			

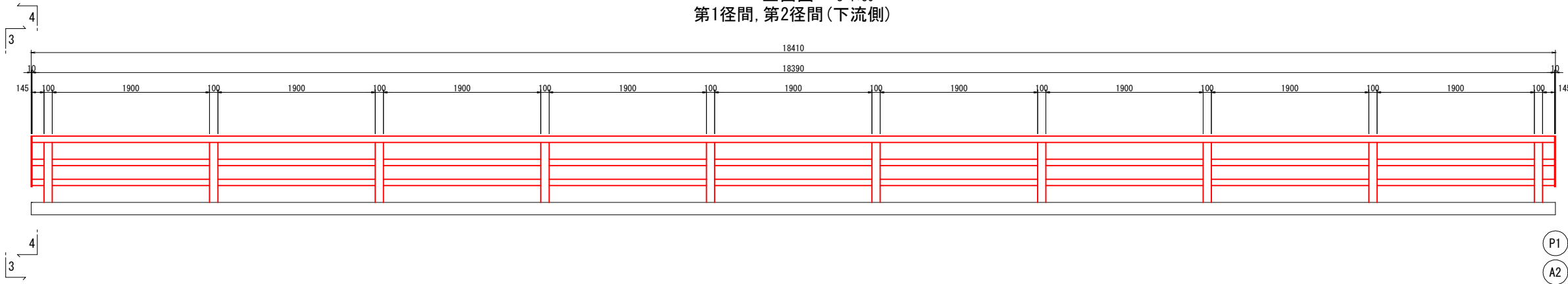
釈迦平橋 補修図（その16）

塗替え塗装工

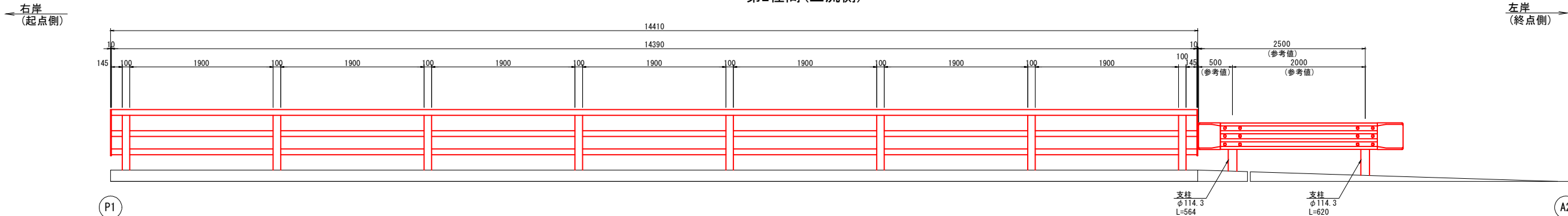
第1, 2径間 (A1橋台～A2橋台)

高欄

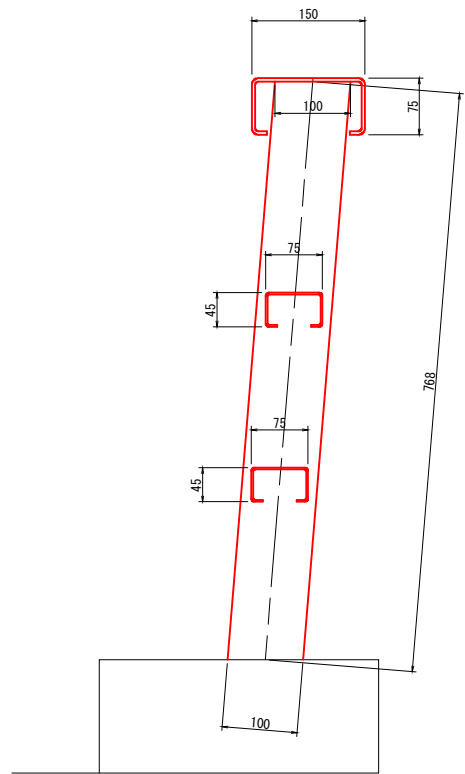
正面図 S=1:30  
第1径間, 第2径間 (下流側)



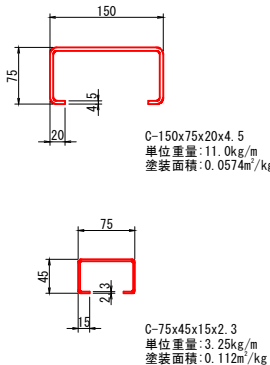
第2径間 (上流側)



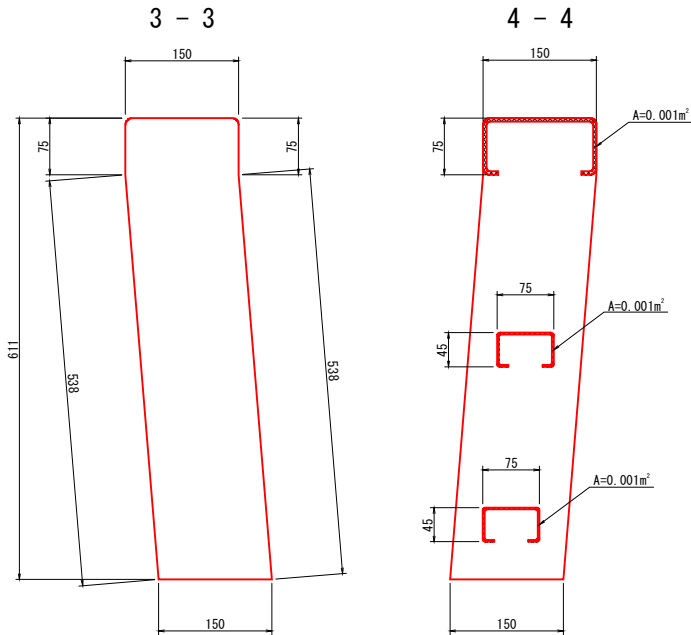
断面図 S=1:5



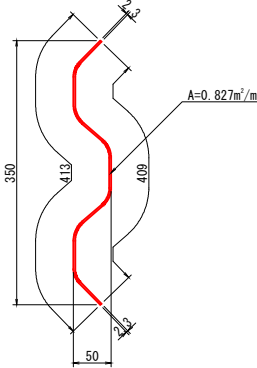
ビーム断面図



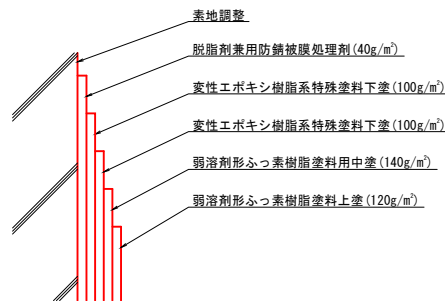
断面図 S=1:5



ビーム詳細図 S=1:5



塗替え塗装工  
(参考図)



塗装仕様：錆転換型防食塗装

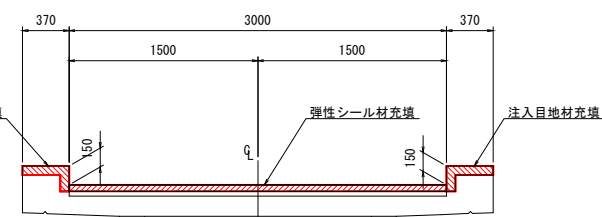
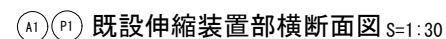
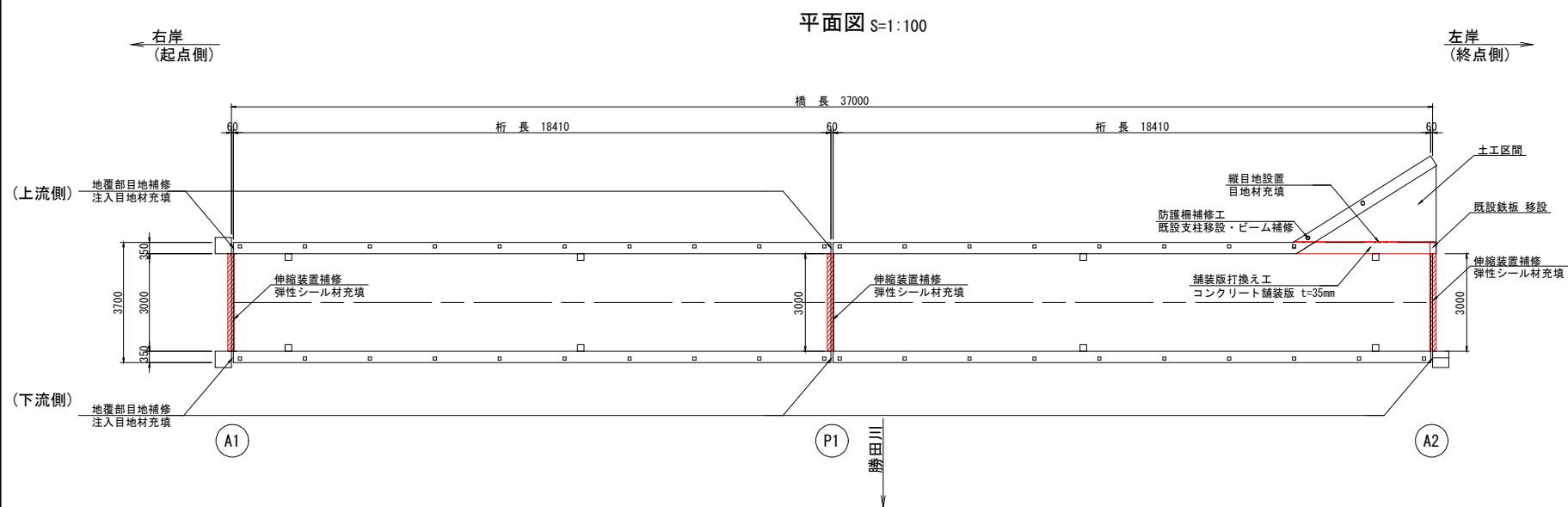
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m²)
素地調整	3 種	
表面処理	脱脂剤兼用防錆被膜処理剤	40
下 塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
下 塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

- ※ 素地調整の種類は3種ケレンBを想定。
- ※ 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物(油、ゴミ等)を十分に除去すること。
- ※ 塗装面のケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下、湿度85RH%以上では施工しないこと。
- ※ 塗布量は標準使用量以上とすること。
- ※ 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
- ※ 材料は可使用時間内に塗布を行い、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 降雨、降雪のとき、またはその恐れが或る時は使用しないこと。

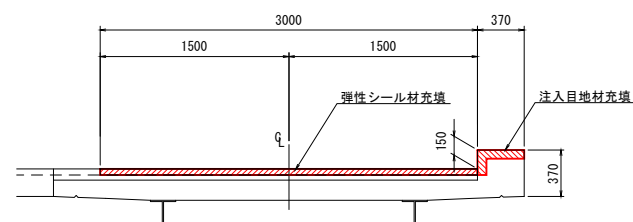
路線名	町道 釈迦平線
釈迦平橋橋梁修繕工事	
位 置	東伯郡琴浦町大字山川
図 名	補修図(その16)
単 位	(MM) 縮 尺 (図 示)
図 号	全 22 葉中の内 17
令和 4 年度施工	
琴浦町役場	

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

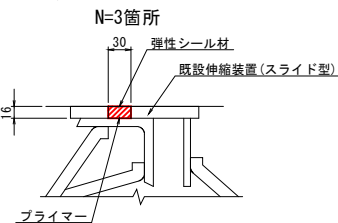
伸縮部補修工、舗装版打換え工、防護柵補修工



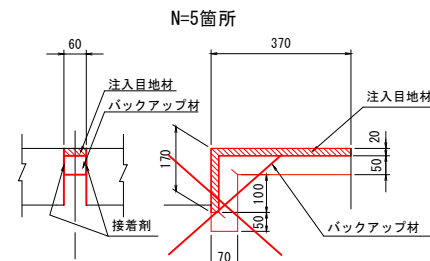
② 既設伸縮装置部横断面図 S=1:30



伸縮装置補修詳細図 S=1:5

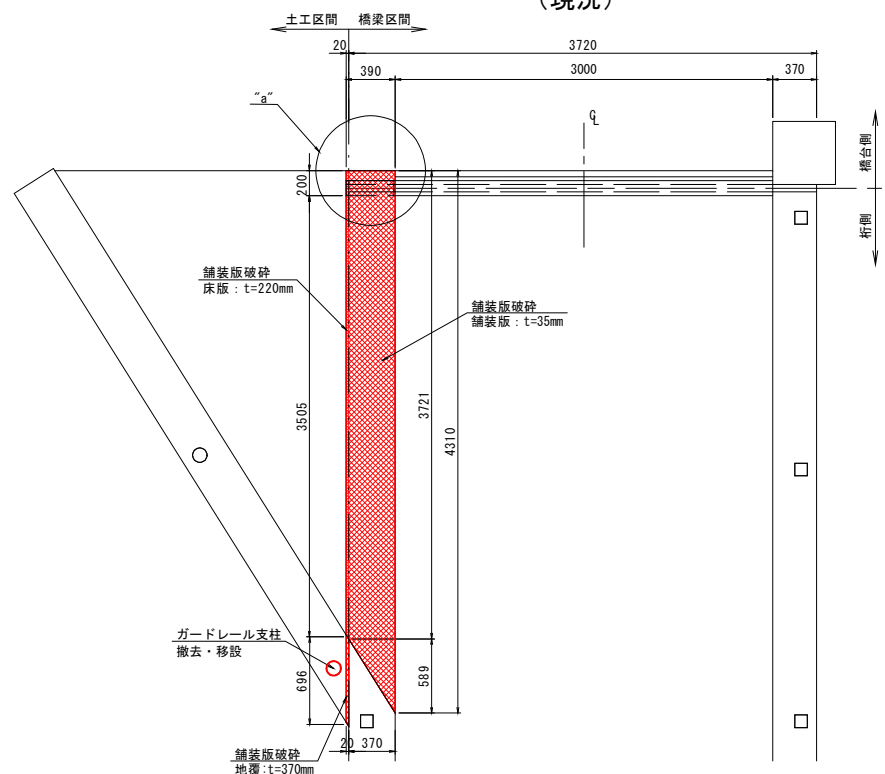


地覆部目地補修詳細図 S=1:10

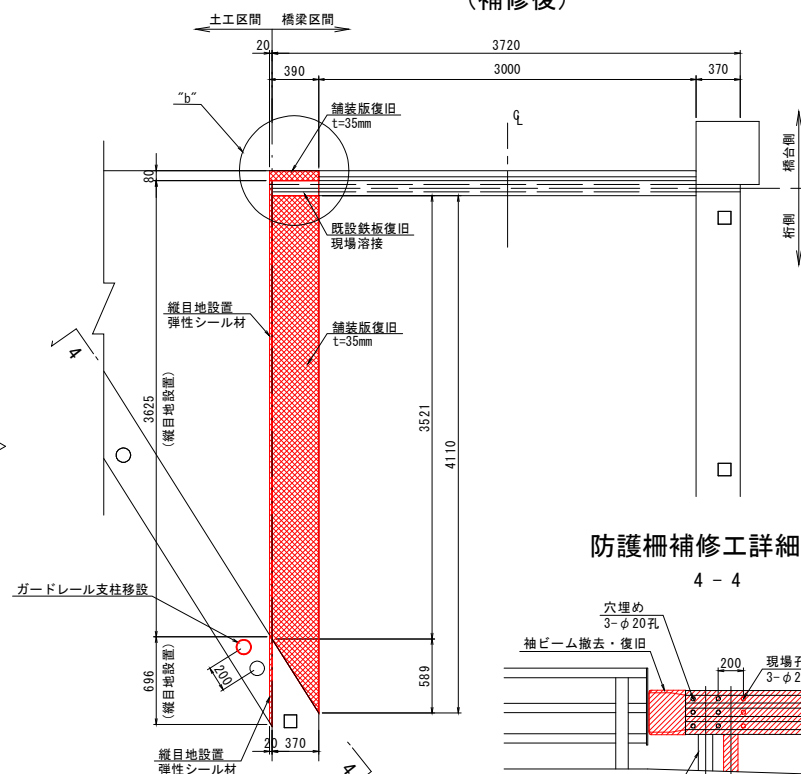


地覆部止水工は橋面高さにて設置すること。  
(地覆部にて立ち上げを行わない)

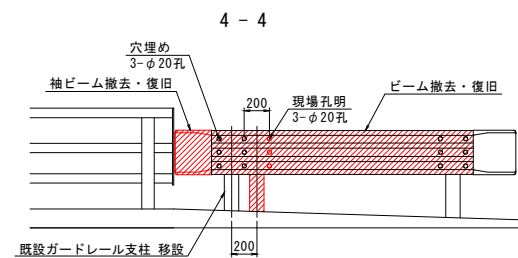
A2
 既設撤去図
 S=1:30  
 (現況)



(A2) 伸縮目地補修図 S=1:30  
 (補修後)

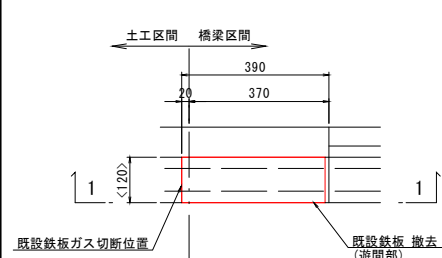


防護柵補修工詳細図 S=1:30

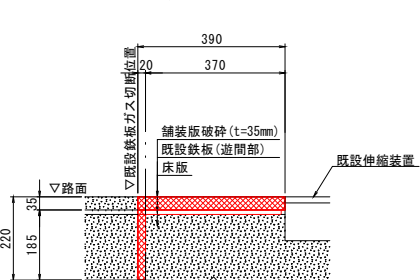


※ 地覆部の縦目地設置は、ガードレール支柱の移設、地覆の断面修復と補修範囲が重複するため、施工順序等を検討のうえ施工すること。

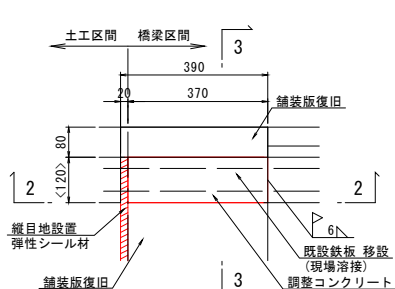
“a”部詳細図 S=1:10  
(既設鉄板撤去)



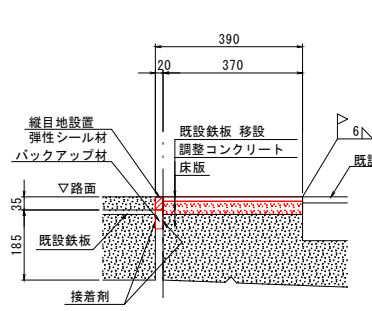
1 - 1断面图 S=1:10



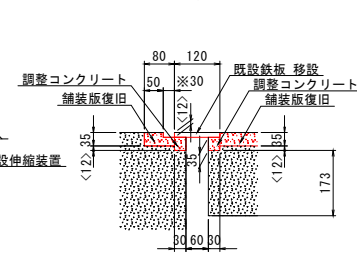
“b”部詳細図 S=1:10  
(既設鉄板移設)



2 - 2断面图 S=1:10

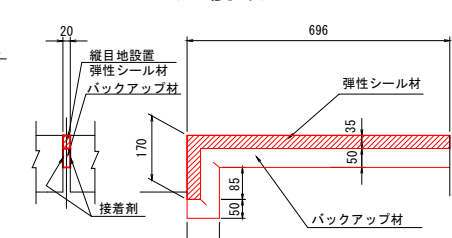


3 - 3断面图 S=1:10



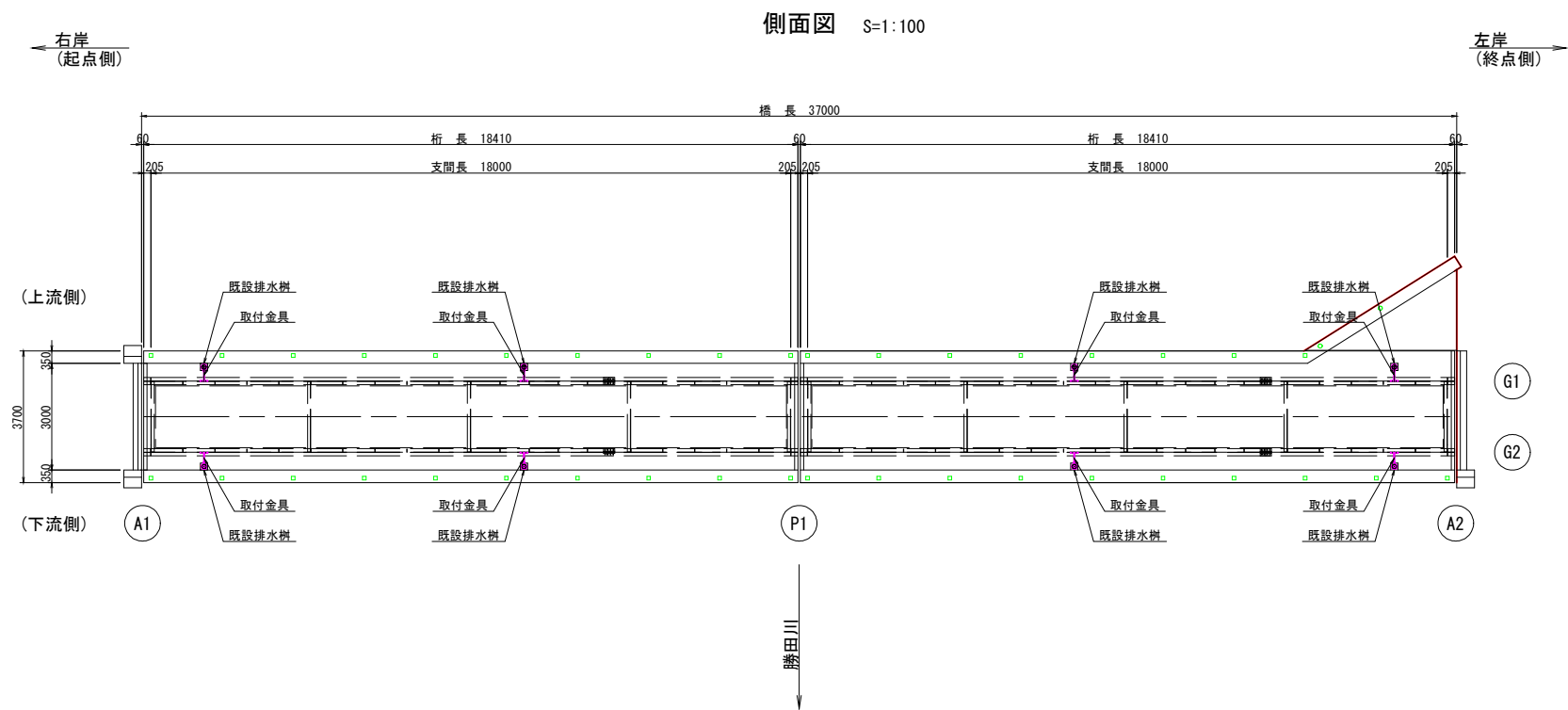
※印寸法は、施工時の伸縮装置遊間を実測の上、決定すること。

縦目地設置詳細図 S=1:10  
(地覆部)



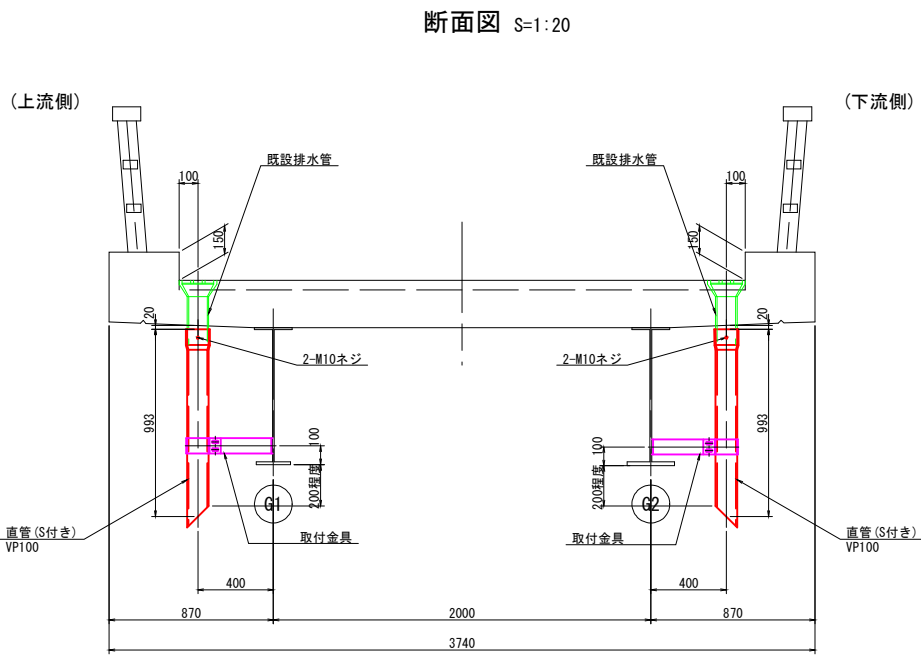
路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修図(その17)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 18		
令和	4	年度施工	
琴浦町役場			

釈迦平橋 排水装置補修工図



排水装置補修工数量表

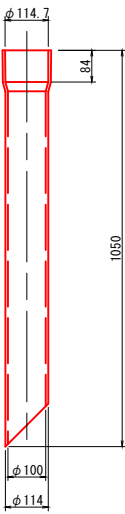
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
流心延長		m	7.944	
直管	VP100(スリーブ付き)	本	8	L = 1.050 x 8 = 8.400
ビス	M10	個	16	排水管取替用
取付金具	SS400	組	8	W = 3.381kg/組
ボルト・ナット	M12x35	組	32	取付金具用



直 管 S=1:10

VP100 (S付き)

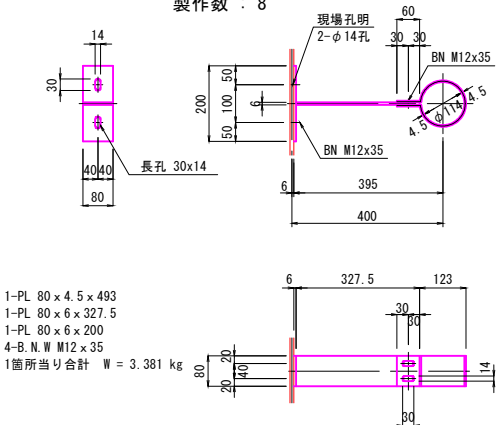
N=8ヶ



取付金具 S=1:10

VP100用

製作数 : 8



※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

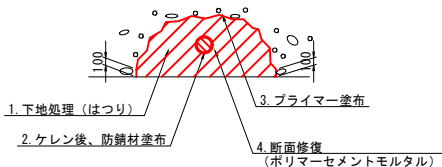
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。

※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

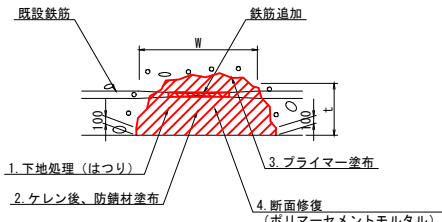
路線名	町道 釈迦平線		
	釈迦平橋橋梁修繕工事		
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	排水装置補修図		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 19		
令和 4 年度施工			
	琴浦町役場		

釈迦平橋 補修詳細図（参考図）（その1）

断面修復工（左官工法）

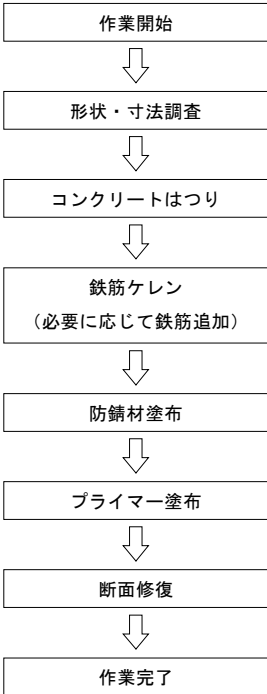


断面修復工（鉄筋追加）（左官工法）

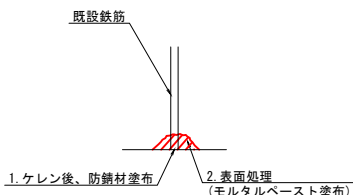


- ※ 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
- ※ 端部は、L字カットを行うこと。
- ※ 腐食鉄筋のケレンに伴い鉄筋断面が著しく減少した箇所（25%以下）は、新たに同径の鉄筋を追加設置すること。
- ※ 鉄筋を追加する場合は、既設鉄筋に35D以上継ぎ手長を設けること。
- ※ 断面修復工は、原形復旧を基本とする。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。

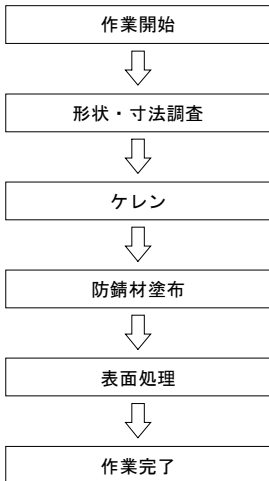
施工手順



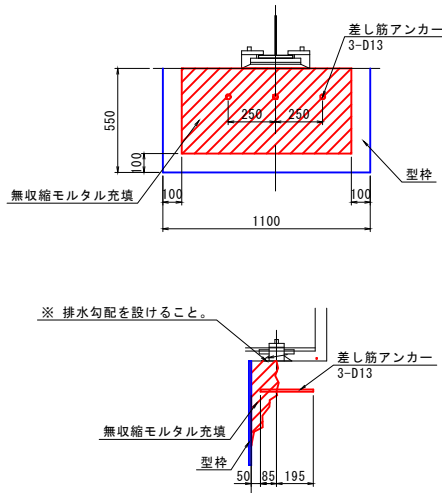
鉄筋防錆工



施工手順

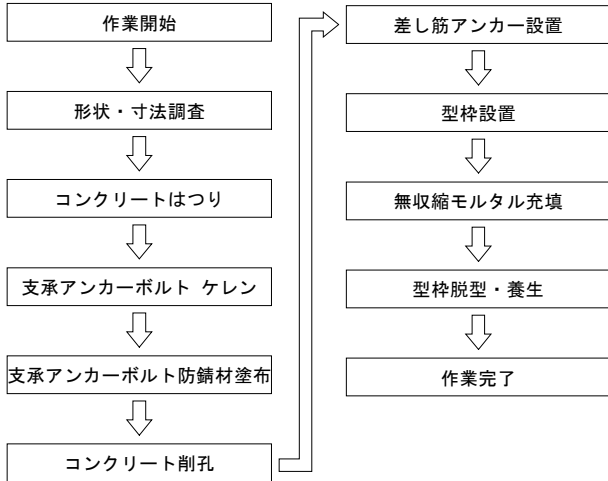


断面修復工（充填工法）

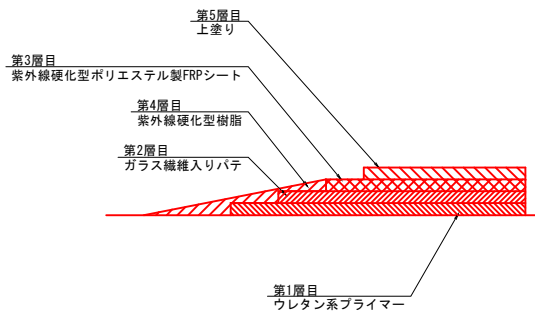


- ※ 支承周りの橋座面に排水勾配を設けること。
- ※ 支承下のはつり作業は、支承が沈下しないように注意して行うこと。

施工手順

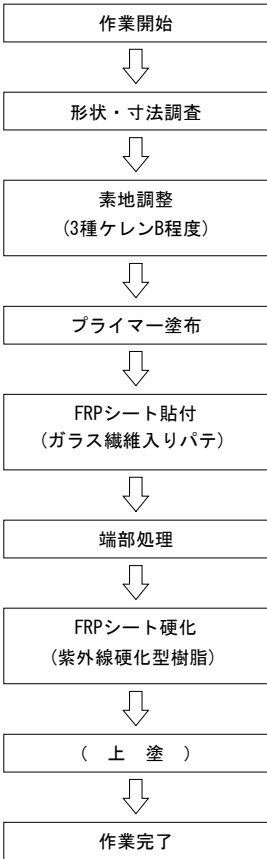


孔食補修工

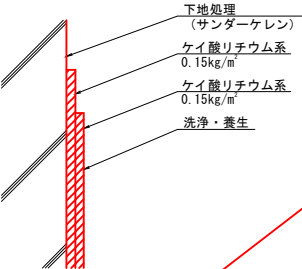


- ※ 上塗り材料は、塗替え塗装と同様の材料を塗布すること。
- ※ 端部処理は、入念に行うこと。

施工手順

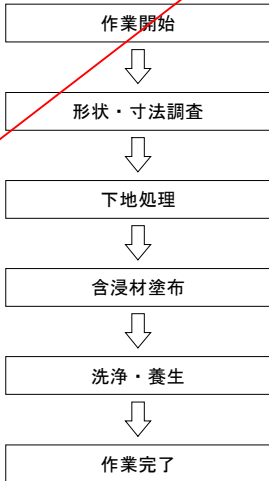


表面処理工（表面含浸材塗布）

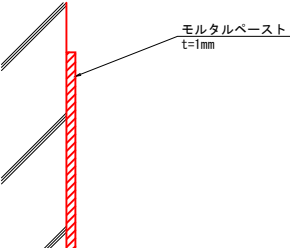


- ※ 表面保護材はケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/m<sup>2</sup>以上とすること。
- ※ 含浸材塗布後の洗浄は十分に行った後、表面を乾燥させること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。

施工手順

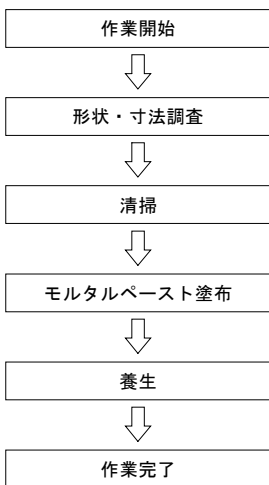


表面処理工（モルタルペースト塗布）

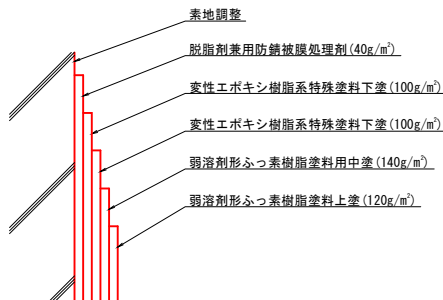


- ※ 部材にひびわれがある場合は、下処理としてモルタルをひびわれに擦り込みむこと。

施工手順



塗替え塗装工, 支承防錆工

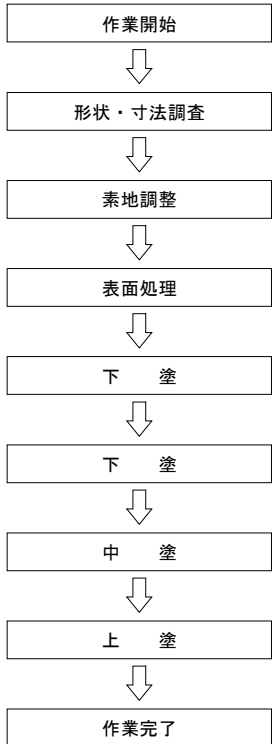


塗装仕様：錆転換型防食塗装

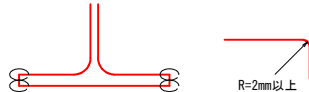
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )
素地調整	3 種	
表面処理	脱脂剤兼用防錆被膜処理剤	40
下 塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
下 塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

- ※ 素地調整の種類は3種ケレンBを想定。
- ※ 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物（油、ゴミ等）を十分に除去すること。
- ※ 塗装面のケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下、湿度85RH%以上では施工しないこと。
- ※ 塗布量は標準使用量以上とすること。
- ※ 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
- ※ 材料は可使時間内に塗布を行い、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 降雨、降雪のとき、またはその恐れが或る時は使用しないこと。

施工手順



角部 曲面仕上げ（主桁）

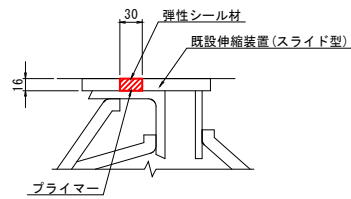


- ※ 部材の角部は膜厚の確保がしにくい箇所であるため、半径2R以上の曲面仕上げを行い、一般部と同等の塗膜性能を得ること。
- （出典：鋼道路橋防食便覧 平成26年3月 II-48 より）

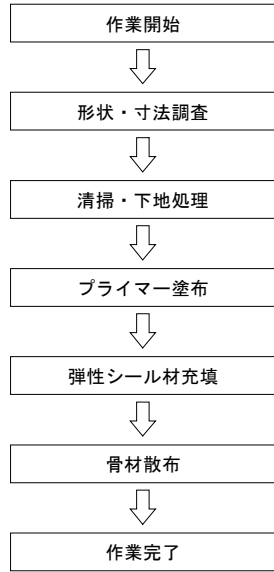
路線名	町道 釈迦平線		
釈迦平橋橋梁修繕工事			
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修詳細図(参考図)(その1)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 20		
令和 4 年度	施工		
琴浦町役場			

釈迦平橋 補修詳細図（参考図）（その2）

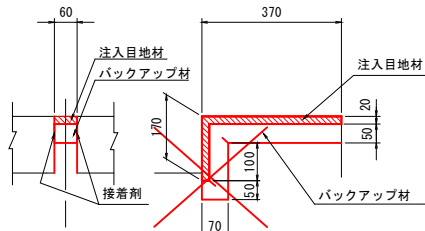
伸縮部補修工  
(伸縮装置補修)



施工手順

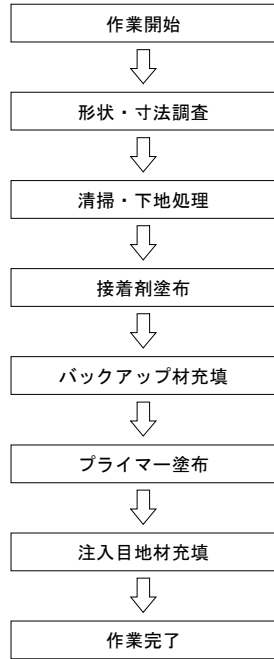


伸縮部補修工  
(地覆部目地補修)

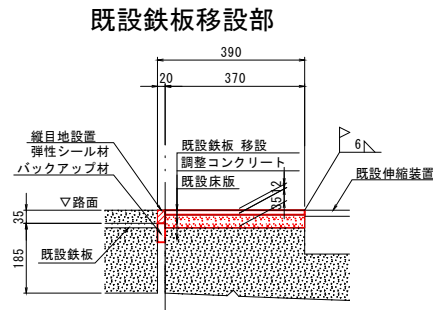


地覆部止水工は橋面高さにて設置すること。  
(地覆部にて立ち上げを行わない)

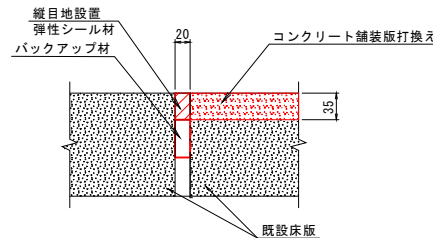
施工手順



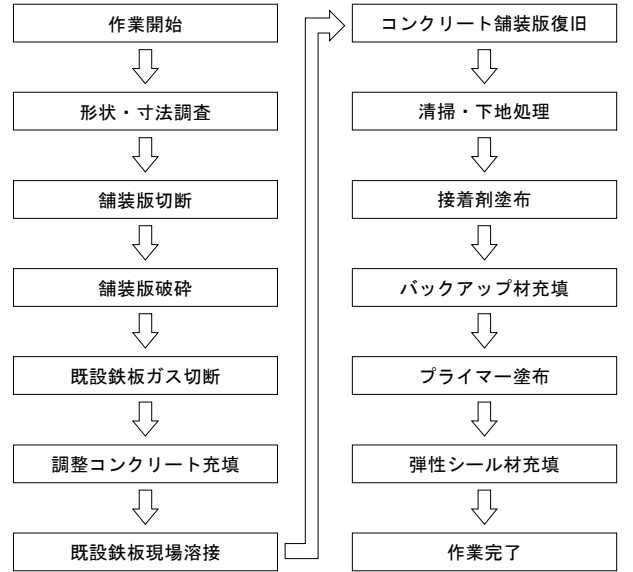
伸縮部補修工・舗装版打換え工  
(縦目地設置)



舗装版打換え部

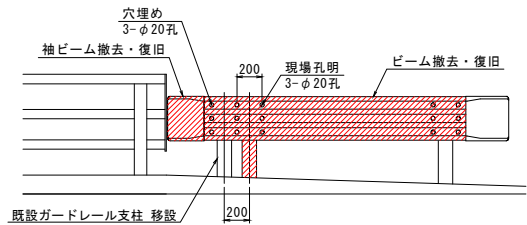


施工手順

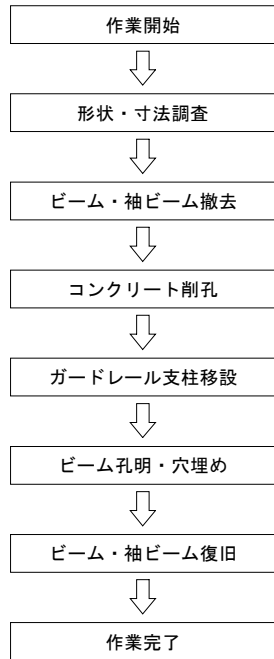


※ 地覆部の縦目地設置は、ガードレール支柱の移設、地覆の断面修復と補修範囲が重複するため、施工順序等を検討のうえ施工すること。  
※ 縦目地は、現地の既設目地の状況を確認のうえ、寸法・施工方法を決定のこと。  
※ 既設鉄板等の部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。  
※ 既設鉄板の復旧に当たり、必要な場合はL形鋼等で補強すること。

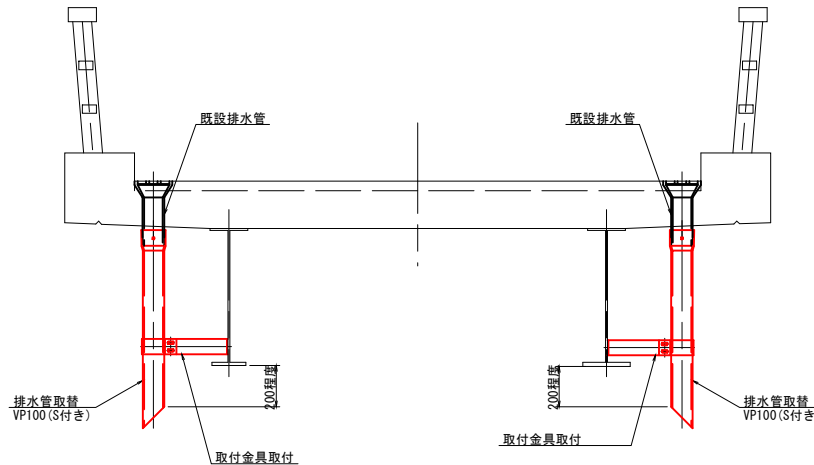
防護柵補修工  
(既設ガードレール支柱移設)



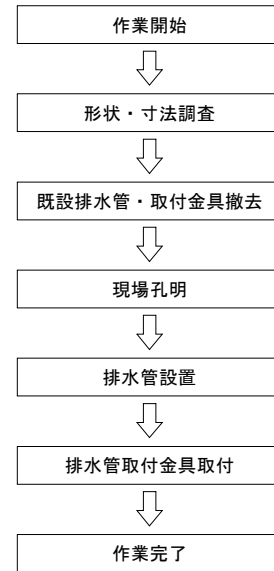
施工手順



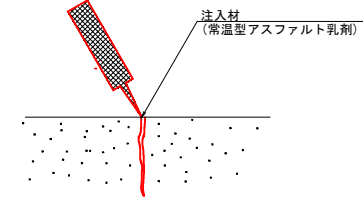
排水装置補修工



施工手順

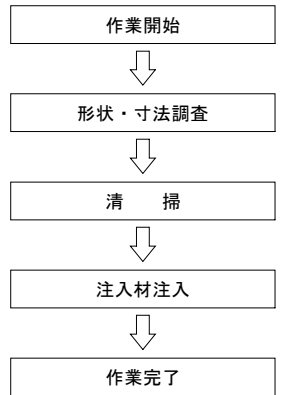


舗装版クラック補修工(クラック補修)



※ 補修材注入前には補修部の清掃を十分行うこと。

施工手順



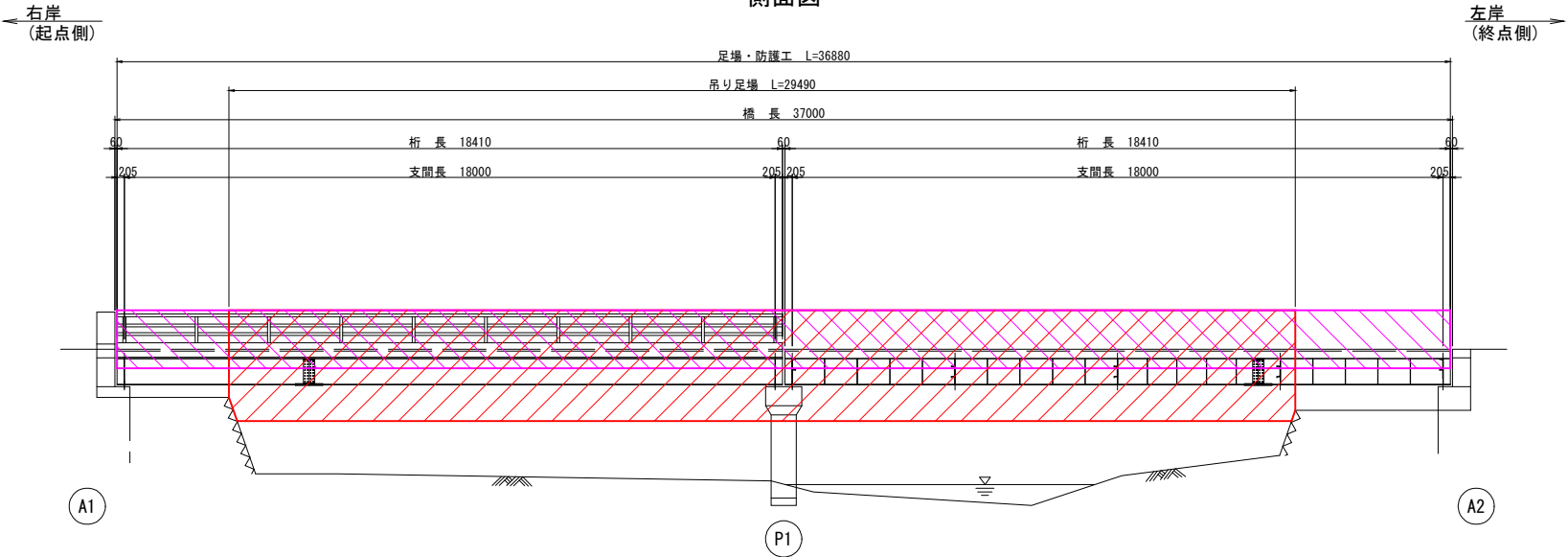
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。  
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

路線名	町道 釈迦平線		
	釈迦平橋橋梁修繕工事		
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	補修詳細図(参考図)(その2)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 21		
令和 4 年度施工			
	琴浦町役場		

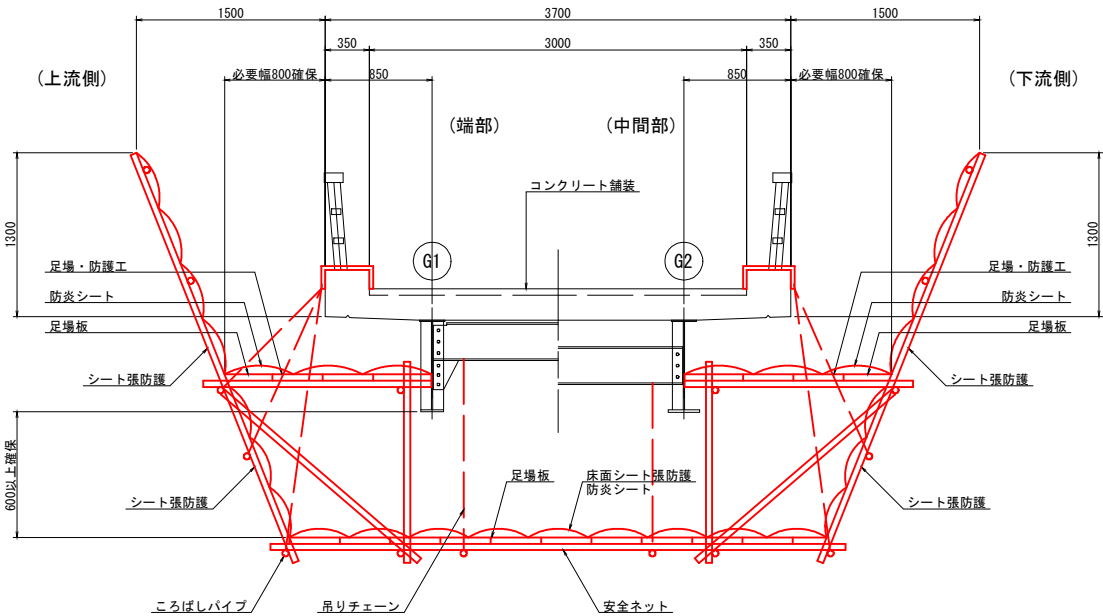


釈迦平橋 仮設足場図（参考図） S=1:100

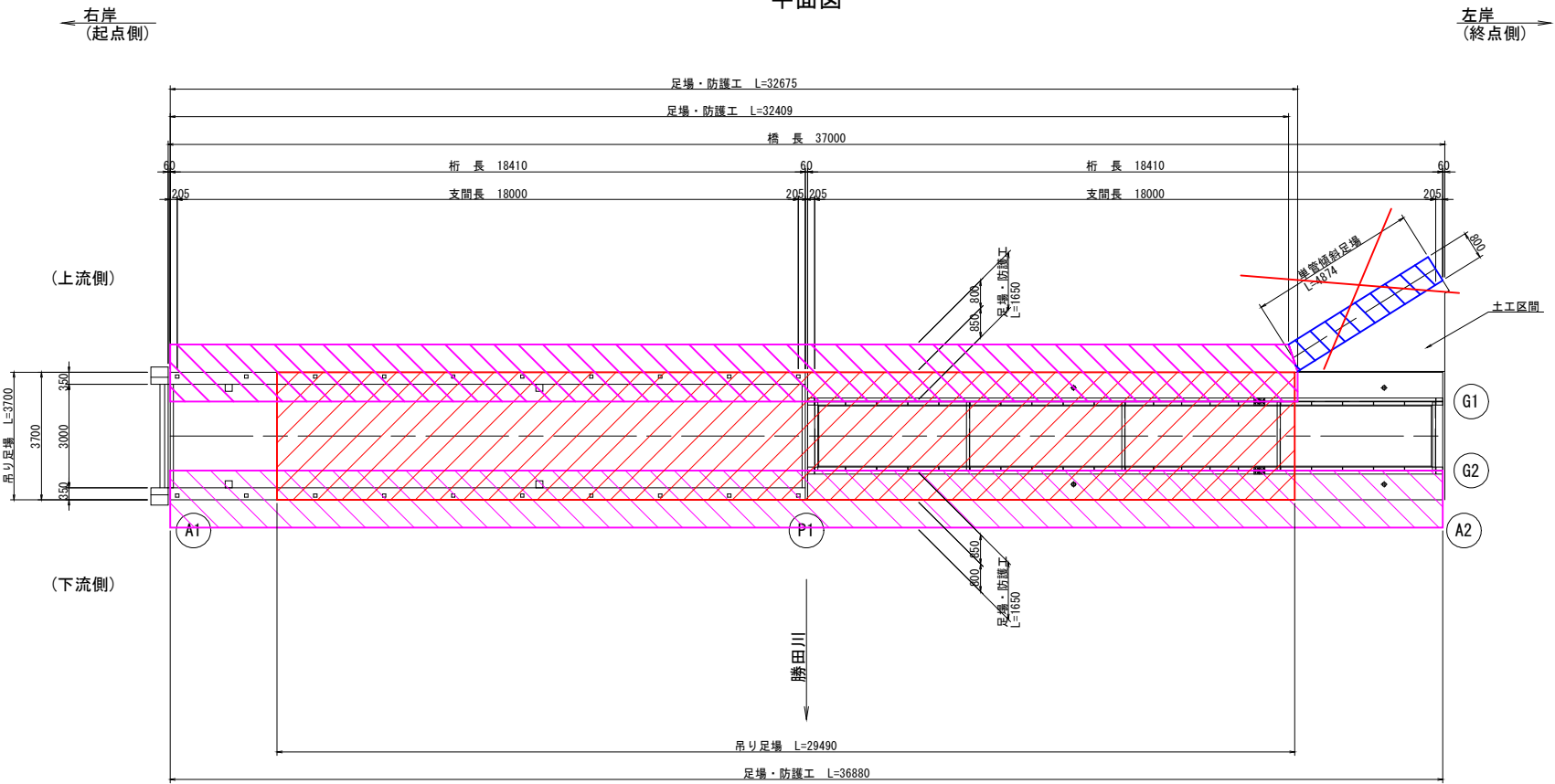
側面図



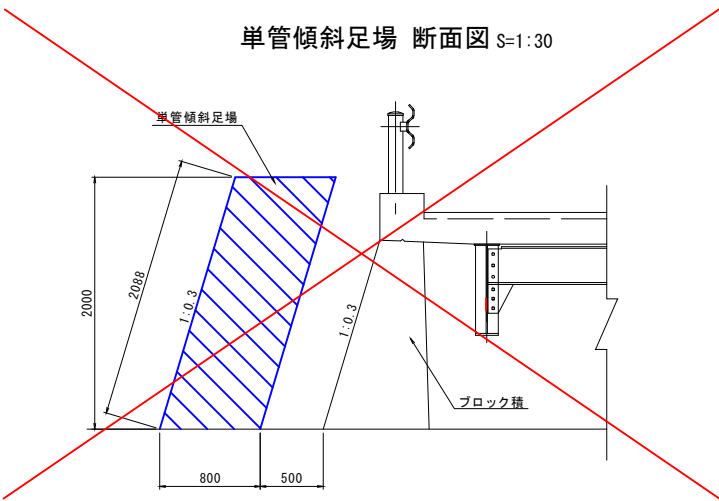
吊足場 断面図 S=1:30



平面図



単管傾斜足場 断面図 S=1:30



凡 例

	吊り足場 (TYPE A1)
	足場・防護工 (TYPE E)
	単管傾斜足場

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

路線名	町道 釈迦平線		
	釈迦平橋橋梁修繕工事		
位 置	東伯郡琴浦町大字山川		
図 名	仮設足場図(参考図)		
単 位	(MM)	縮 尺	(図 示)
図 号	全 22 葉中の内 22		
令和 4 年度施工	琴浦町役場		